

1987年

新野 直吉	「古代史に見る東北のこころ」『岩手史学研究』第70号	岩手史学会
船木 義勝	「弘田福跡—第65次調査の概要—」	
小松 正夫	「昭和61年度秋田城跡—発掘調査概要—」	
小松 正夫	「秋田城跡出土瓦」	
伊藤邦弘他	「城輪福跡出土の瓦について」 『第13回古代東北城郭官衙遺跡検討会資料』	城郭検
熊田 亮介	「賊氣已衰」『日本歴史』第435号	吉川弘文館
弘田 榎(事)	「弘田福跡—第65～67次調査概要—」弘田福跡調査事務所年報1986	秋田県教育委員会
船木 義勝	「弘田福跡第65次調査概要」 『昭和61年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』	秋田県埋文センター
弘田 榎(事)	「弘田福跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報5(昭和61年度)』	秋田県埋文センター
秋田県教育委員会	『西山地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書1 —勤忍沢遺跡—』秋文調報第152集	秋田県教育委員会
秋田城(事)	『秋田城跡 昭和61年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
桜田 隆	「鹿角盆地に於ける古代土器群の様相」 『秋田県埋蔵文化財センター—研究紀要』第2号	秋田県埋文センター
三嶋 隆敏他	「男鹿市小谷地遺跡の壺書七器」『秋田県立博物館研究報告』第12号	秋田県博
秋田市教育委員会	「史跡秋田城跡保存管理計画」 『昭和61年度史跡等保存管理計画策定事業報告書』	秋田市教育委員会
秋田市教育委員会	『秋田城跡整備基本計画—秋田城跡・高清水の丘歴史の杜博物館—』秋田市教育委員会	秋田市教育委員会
大館市教育委員会	『矢立庵寺発掘調査報告書』	大館市教育委員会
羽後町教育委員会	『大久保(杉宮) 遺跡発掘調査概報』羽後町埋蔵文化財調査報告書	羽後町教育委員会
仁賀保町教育委員会	『沢沢遺跡発掘調査報告書』	仁賀保町教育委員会
若美町教育委員会	『西海老沢遺跡発掘調査報告書—昭和61年度若美町西海老沢地区 団体農道整備事業に係る埋蔵文化財調査—』	若美町教育委員会
山崎 文幸	「仙北町の遺跡紹介2」『うもれ木』第12号	仙北町史談会
佐藤 宗淳	「古代・中世の城—1 古代の城への一視角—その歴史的意義」 『月刊文化財』第283号	第一法規出版
新野 直吉	『ジュニア版 秋田の歴史』	秋田魁新報社
進藤 秋輝	「古代・中世の城—2 東北古代城郭の出現とその構造」 『月刊文化財』第285号	第一法規出版
本郷 洋治	「古代の山北地方の地名について」『秋田地名研究年報』第3号	秋田地名研究会
富樫 泰時	「先史・古代」『図説秋田県の歴史』	河出書房新社
秋田市教育委員会	『秋田新都市間発掘整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 —下境C遺跡—』	秋田市教育委員会
鈴木 嘉吉	「宮蔵と官衙」『世界考古学体系11本編補遺』	天山會
坪井 清足	「歴史考古学の開花」『世界考古学体系日本編補遺』	天山會
若月 義小	「古代北方史研究の課題」『新しい歴史学のために』第188号	京都民科歴史部会
若月 義小	「阿倍氏の航跡 東北経営と「越」」『季刊明日香風』第24号	(財)飛鳥保存財団
西目町教育委員会	『宮崎遺跡発掘調査報告書』	西目町教育委員会
船木 義勝	「1986年出土の木簡 秋田・弘田福跡」『木簡研究』第9号	木簡学会

- 池田 正治他 「由利郡西日町で採集された墨書土器」『秋田考古学』第39号 秋田考古学協会
 富樫 泰時 「原始社会」『木柱市史』通史編Ⅰ 本在町
 秋田市教育委員会 『昭和61年度史跡等保存管理計画策定事業報告書 史跡・秋田城跡保存管理計画』 秋田市教育委員会
 小野 忍 「史跡城柵跡と周辺の古代村落」『山形県地域史研究』第13号 山形地域史研究協議会

1988年

- 桑原 滋郎 「東北の城柵について」『季刊明日香風』第25号 (財)飛鳥保存財団
 日野 久 「昭和62年度発掘調査概要 秋田城跡」
 児玉 準 「弘田柵跡—第68次調査の概要—」 『第14回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 城柵検
 古田 孝 『体系 日本の歴史 3 古代国家の歩み』 小学館
 弘田柵(事) 『弘田柵跡—第68～73次調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1987』 秋田県教育委員会
 児玉 準 「弘田柵跡(第68次調査)」 『昭和62年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋文センター
 弘田柵(事) 「弘田柵跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報6(昭和62年度)』 秋田県埋文センター
 秋田県教育委員会 『味噌内地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 一袖ノ沢遺跡・横沢遺跡—』 秋文調報第169集 秋田県教育委員会
 秋田県教育委員会 『西山地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ 一太田谷地館—』 秋文調報第172集 秋田県教育委員会
 西木村教育委員会 『上松木内 高野遺跡発掘調査報告書』昭和62年度西木村文化財調査報告書 西木村教育委員会
 熊谷 太郎 「秋田県の古代製鉄炉」
 横山 伸司 「古代国家の辺境地支配と柵・柵戸・郡について」 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第3号 秋田県埋文センター
 秋田城(事) 『秋田城跡 昭和62年度秋田城跡発掘調査概報』 秋田市教育委員会
 岡田 茂弘 「東北の古代城柵」『一粒の粉・定期講演会講演録第二集』 学習院大学考古学研究会
 秋田市教育委員会 『秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 一下堤A遺跡・下堤B遺跡—』 秋田市教育委員会
 鹿角市教育委員会 『大湯環状列石発掘調査報告書 4』 鹿角市教育委員会
 羽後町教育委員会 『七窪遺跡発掘調査報告書』羽後町文化財調査報告書第8集 羽後町教育委員会
 平鹿町教育委員会 『牟子狐地区遺跡詳細分布調査報告書』平鹿町文化財報告書 平鹿町教育委員会
 熊谷 太郎 「秋田県雄忍沢遺跡」『日本考古学年報39(1986年度版)』 日本考古学協会
 棚橋 光男 『体系 日本の歴史 4 王朝の社会』 小学館
 岩見 誠夫他 『山形県の須恵器及び須恵器窯の編年』『山形考古』第4巻2号 山形考古学会
 西山 良平 「古代国家と地域社会」『日本の古代 第15巻 古代国家と日本』 中央公論社
 小笠原 好彦 「律令制時代の考古学の研究動向と諸問題」『考古学評論』第1号 古代を考える会
 工藤 雅樹 「古代蝦夷とその社会」『北からの日本史』 三省堂
 飯塚 喜一 『秋田の文化財』 無明舎出版
 岡田茂弘編 『復元日本大観3 都城と国府』 世界文化社
 新野 直吉 『古代東北日本の謎』 大和書房
 佐藤 清宏 「出羽国八森遺跡の調査」『日本歴史』第486号 古川弘文館

新野 直吉 『古代東北史』 歴史春秋社
金子裕之編 『律令期祭祀遺物集成』 律令祭祀研究会

1989年

- 桑原 滋郎 「東と西のまもり」『古代史復元3 古代の宮殿と寺院』 講談社
日野 久 「昭和63年度 秋田城跡発掘調査概要」
児玉 準 「弘田柵跡—第74次調査の概要—」
『第15回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 城柵検
弘田柵(事) 『弘田柵跡—第74~78次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1988 秋田県教育委員会
児玉 準 「弘田柵跡(第74次調査)」
『昭和63年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋蔵文化センター
弘田柵(事) 「弘田柵跡」『秋田県埋蔵文化財センター年報7(昭和63年度)』 秋田県埋蔵文化センター
秋田県教育委員会 「一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ
—福田遺跡他—」秋文調報第178集 秋田県教育委員会
秋田県教育委員会 『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅲ—上野台遺跡・寺沢遺跡・
半仙遺跡—』秋文調報第180集 秋田県教育委員会
秋田県教育委員会 『西山地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ
—用野目川向Ⅲ遺跡—』秋文調報第182集 秋田県教育委員会
秋田県教育委員会 『西山地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ
—太田谷地館第2次調査—』秋文調報第183集 秋田県教育委員会
高橋 学 「竈穴住居跡と掘立柱建物跡が並列して構築される遺構について
—能代市福田遺跡・十二林遺跡を端緒として—」
『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第4号 秋田県埋蔵文化センター
秋田城(事) 『秋田城跡 昭和63年度秋田城跡発掘調査概報』 秋田市教育委員会
仙北町教育委員会 『史跡弘田柵跡環境整備基本計画』 仙北町教育委員会
八木 光則 「安倍・清原氏の城柵遺跡」『岩手考古学』第1号 岩手考古学会
阿部 義平 「城柵と国府・郡家の関連」
『国府研究の現状(その二)』
『国立歴史民俗博物館研究報告』第20集 国立歴史民俗博物館
八幡町教育委員会 『八森遺跡8・9・10次発掘調査報告』
八幡町埋蔵文化財調査報告書第3集 八幡町教育委員会
佐々木和博 「弘田柵跡と多賀城跡—政府の比較を中心に—」
『國學院大學考古学資料館紀要』第5輯 國學院大學考古学資料館
斎藤 忠 「日本木簡概観」『書道研究』第3巻第5号 美術新聞社
小松 正夫 「八、九世紀における出羽北半須恵器の特質」
『考古学研究』第36巻第1号 考古学研究会
工藤 雅樹 『城柵と蝦夷』考古学ライブラリー51 N・S社
平川 南 『漆紙文書の研究』 吉川弘文館
渡部 育子 『郡司制の成立』 吉川弘文館
新野 直吉 『秋田の歴史』改訂版 秋田魁新報社
東山利町 『東山利町史』 東山利町
光谷 拓実 「年輪から古代を読む」『新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』 クバプロ

富樫 泰時	「埋没家屋について」森浩一編『古代日本海域の謎Ⅰ』	新人物往来社
新野 直古	『古代東北の兵乱』	吉川弘文館
中村 英重	「渡島蝦夷の朝貢と貿易」	
熊田 亮介	「古代における「北方」について」	
新野 直古	「棚戸の風俗的意義」 『古代の東北—歴史と民俗』	高科書店
仙北町他	『史跡弘田柵跡環境整備基本計画 昭和63年度』	仙北町

1990年

熊田 亮介	「天平九年大野東人の遠征をめぐる」『日本歴史』第500号	吉川弘文館
上藤 雅樹	「古代蝦夷の諸問題」	
熊谷 太郎	「米代川の古代製鉄炉」	
大野 憲司	「太田谷地館について—空堀を持つ平安時代後葉の集落跡—」	
高橋 学	「区画施設を伴う古代集落遺跡について」 『よねしろ考古』第5号	よねしろ考古学研究会
日野 久	「秋田城跡第54次調査」	
児玉 準	「弘田柵跡—第81次調査の概要—」	
小松 正夫	「特集：出羽国の城柵 秋田城跡発掘調査の成果—遺構の変遷と性格—」	
小野 忍	「特集：出羽国の城柵 城輪柵跡と周辺の古代村落」	
児玉 準	「特集：出羽国の城柵 弘田柵跡の変遷と性格」 『第16回古代城柵官衛遺跡検討会資料』	城柵検
今泉 隆雄	「古代東北城柵の城司制」『北日本中世史の研究』	吉川弘文館
弘田柵(事)	『弘田柵跡—第79～83次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1989	秋田県教育委員会
児玉 準	「弘田柵跡(第81次調査)」 『平成元年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』	秋田県埋文センター
弘田柵(事)	「弘田柵跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報8(平成元年度)』	秋田県埋文センター
秋田県教育委員会	『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅳ—下田・下田谷地遺跡—』 秋文調報第189集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅴ—手取清水遺跡—』 秋文調報第190集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『はりま館遺跡発掘調査報告書』秋文調報第192集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『大砂川地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—オオフキ遺跡—』秋文調報第199集	秋田県教育委員会
秋田城(事)	『秋田城跡 平成元年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
久保 寿一郎	「古代の絵馬小考」『柏屋郡柏屋町戸原支尾遺跡(Ⅲ)』 福岡市埋蔵文化財調査報告書第217集	福岡市教育委員会
小松 正夫	「秋田城と東山道」『文化財信濃』第16巻3・4号	長野県文化財保護協会
津野 仁	「地方官衙跡出土の墨書土器」『古代』第89号	早稲田大学考古学会
高橋 学	「西日町井岡遺跡で採集された遺物について」『秋田考古学』第40号	秋田考古学協会
大館市教育委員会	『山王台遺跡発掘調査報告書』	大館市教育委員会
大内町	『大内町史』	大内町
鹿角市教育委員会	『大湯環状列石発掘調査報告書 6』	鹿角市教育委員会

- | | | |
|-----------------|---|-------------|
| 佐藤 植宏 | 『山形県飽海郡八幡町八森遺跡』『日本考古学年報41（1988年版）』 | 日本考古学協会 |
| 阿子島 功他 | 「東北地方、10C頃の降下火山灰について（予報）」
『東北地理』第42巻第3号 | 東北地理学会 |
| 似内 啓邦 | 『古代城柵』『歴史考古学の問題点』 | 近藤出版社 |
| 文化財保存
全国協議会 | 『遺跡保護の事典』 | 三省堂 |
| 新野 直古他 | 『弘田柵の研究』 | 文献出版 |
| 熊田 亮介 | 「北の民・北の領域—古代北方史の一視点」『北からの日本史 第2集』 | 三省堂 |
| 山田 一郎他 | 「東北地方を覆う古代の珪長質テフラ“十和田—大湯輝石”の同定」
『第四紀研究』第29巻第2号 | 日本第四紀学会 |
| 奈文研 | 『年輪に歴史を読む—日本における古年輪学の成立—』
奈良国立文化財研究所学報（第48冊） | 奈文研 |
| 宮越 泰時 | 『おもしろ秋田むかし考』 | 無明舎出版 |
| 川崎市市民
ミュージアム | 『木簡—古代からのメッセージ—木簡展解説図録』 | 川崎市市民ミュージアム |
| 後藤 稜次郎 | 「後藤市外と郷土史 弘田柵址とのかかわりについて」『北方風土』21号 | 北方風土社 |
| 桑原 滋部 | 「東北城柵のいわゆる柵木について」 | |
| 川崎 利夫 | 「兩府周辺の集落構成」 | |
| 阿部 義平 | 「俘囚と考古学」
『伊東信雄先生追悼 考古学古代史論叢』 | 今野印刷 |
| 宮 宏明 | 「化外の地における鈴帯金貝出土の意義」『北奥古代文化』第20号 | 北奥古代文化研究会 |
| 渡部 育子 | 「4 辺境の村落 — 奥羽の村落」『日本村落史講座』第2巻 景観1 | 雄山閣出版 |
| 木簡学会編 | 『日本古代木簡選』 | 岩波書店 |
| 島田 亮三 | 『古代定額寺「山本郡安隆寺」を探る』 | 個人 |
| 金浦町 | 『金浦町史』 | 金浦町 |
| 新野 直古 | 「古代秋田城の—性格」『政治経済史学』第295号 | 政治経済史学会 |
| 森 浩一 | 『図説 日本の古代6 文字と都と駅』 | 中央公論社 |
| 1991年 | | |
| 津野 仁 | 「土器に書かれた文字」『考古学ジャーナル』第328号 | N・S社 |
| 阿子島 功他 | 「東北地方、10C頃の降下火山灰について」
『中川久夫教授退官記念地質学論文集』 | 同教授退官記念事業会 |
| 日野 久 | 「秋田城跡第54次調査の概要」 | |
| 児玉 準 | 「弘田柵跡—第85次調査の概要—」 | |
| 小野 忍 | 「城輪柵跡発掘調査概要」 | |
| 佐藤植宏他 | 「山形県八森遺跡（第12次調査）」
『第17回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 | 城柵検 |
| 高橋 崇 | 『律令国家東北史の研究』 | 古川弘文館 |
| 今泉 隆雄 | 「律令と古代の東北」『新野直古、諸戸立雄両教授退官記念歴史論集
秋田地方史の展開』 | 両教授退官記念会 |
| 北橋 保男 | 『古代蝦夷の研究』 | 雄山閣出版 |
| 弘田柵（事） | 『弘田柵跡—第84～87次調査概要—』弘田柵調査事務所年報1990 | 秋田県教育委員会 |

- 冠玉 準 「弘田柵跡(第85次調査)」
『平成2年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋文センター
- 弘田柵(事) 「弘田柵跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報9(平成2年度)』 秋田県埋文センター
- 秋田県教育委員会 『秋田外環状道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ
一沢道跡・松館遺跡一』秋文調報第204集 秋田県教育委員会
- 秋田県教育委員会 『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書X
一上猪岡遺跡一』秋文調報第208集 秋田県教育委員会
- 秋田県教育委員会 『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書XI
一竹原窯跡一』秋文調報第209集 秋田県教育委員会
- 秋田県教育委員会 『国道103号道路改良事業に係る発掘調査報告書Ⅲ
一鉤釣遺跡一』秋文調報第210集 秋田県教育委員会
- 利部 修 「竹原窯跡における坏蓋の変化」
- 桜田 隆 「須志器窯の側壁・天井構材について」
『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第6号 秋田県埋文センター
- 秋田県埋文センター 『設立10周年記念誌 秋田県埋蔵文化財センター10年のあゆみ』 秋田県埋文センター
- 秋田城(事) 『秋田城跡 平成2年度秋田城跡発掘調査概報』 秋田市教育委員会
- 仙北町 『史跡弘田柵跡(ふるさと歴史の広場)事業計画報告書』 仙北町
- 高島 英之 「地方出土の古代木簡について」『研究紀要』第8号 群馬県埋蔵文化財事業団
- 八木 光則 「蝦夷の地域性と特質一六国史および城柵遺跡からの検討一」
- 伊藤 博幸 「奥六郡成立の史的前提」
『岩手考古学』第3号 岩手考古学会
- 熊谷 直春 「秋田城は関府ではなかった」『鶴舞』第62号 本荘市文化財保護協会
- 大塚 初重他 『みちのく古代蝦夷の世界』 山川出版社
- 富樫 泰時 「弘田柵跡」
- 小松 正夫 「秋田城跡」
- 小野 忍 「城輪柵跡」
『図説 日本の史跡』第4巻 古代1 ぎょうせい
- 小野 忍 「文化財レポート ふるさと歴史の広場 史跡城輪柵跡
建物復元とその経過」『日本歴史』第517号 吉川弘文館
- 日野 久 「秋田県秋田市秋田城」『日本考古学年報』第42号 日本考古学協会
- 小松 正夫他 「出羽国府」
- 古川 雅清 「古代城柵官衙遺跡の整備と活用」
- 村田 晃一他 「八世紀後半から九世紀の律令支配の強化と蝦夷の抵抗」
『月刊文化財』第325号 第一法規出版
- 熊谷 公男 「阿倍比羅夫」
- 小口 雅史 「大野東人」
- 渡部 育子 「伊治若麻呂」
- 新野 直古 「坂上田村麻呂」
- 関口 明 「文室輪麻呂」
- 熊田 亮介 「元慶の乱」
- 金野 静一 「前九年・後一年の役」
- 岡野 清一 「奥州藤原氏」
『歴史読本 特集 古代東北戦争 エミシVSヤマト』第36巻15号 新人物往來社

六郷町	『六郷町史 上巻 通史編』	六郷町
高橋 崇	『蝦夷の末裔 前九年・後三年の役の災像』 中公新書1041	中央公論社
栄原 永道男	『集英社版 日本の歴史④天平の時代』	集英社
船木 義勝	『秋田市金足大清水出土の須置器』『土崎史談』第31号	土崎史談会
渡部 育子	『出羽における国郡制形成過程の特質』『新潟史学』第27号	新潟史学会
進藤 秋輝	『城柵の設置とその意義』日本考古学協会宮城・仙台大会 シンポジウム資料集『北からの視点』	日本考古学協会
進藤 秋輝	『城柵の設置とその意義』	
	『日本考古学協会1991年度大会研究発表要旨』	日本考古学協会
岡田 茂弘	『日本古代の城柵—平成2年度秋田考古学協会研究大会記念講演記録—』 『秋田考古学』第41号	秋田考古学協会
三浦 圭介	『本州の掘文文化』『考古学ジャーナル』第341号	N・S社
若松 鉄四郎	『能代市山本郡の平安期の遺跡』『年報能代市史研究』第1号	能代市史編さん室
熊田 亮介	『元慶の乱』覚え書き』『秋田地方史の展開』	みしま書房
1992年		
新野 直吉	『秋田の古代木簡・文字史料について』『書道研究』第5巻第6号	萱原書房
八木 光則	『和同開珎と蝦夷』『岩手史学研究』第75号	岩手史学会
下藤 雅樹	『歴史博物館シリーズ 古代の蝦夷』	河出書房新社
西谷 隆	『秋田城跡 平成3年度発掘調査の概要』	
児玉 準	『弘田柵跡—第90次調査の概要—』	
小松 正夫	『秋田城とその周辺地域の上器様相（試案） —第54次調査の木簡・漆紙文書伴出土器を中心に—』	
高橋 学	『秋田県大館市上野遺跡』 『第18回古代城柵官衙遺跡検討会資料』	城柵検
弘田柵（事）	『弘田柵跡—第88～91次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1991	秋田県教育委員会
児玉 準	『弘田柵跡の調査（第90次）』 『平成3年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』	秋田県埋文センター
弘田柵（事）	『弘田柵跡』『秋田県埋蔵文化財センター 年報10（平成3年度）』	秋田県埋文センター
秋田県教育委員会	『七窪遺跡発掘調査報告書』秋文調報第215集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『秋田ふるさと村建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』 秋文調報第220集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『国道103号道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書V —山王岱遺跡—』秋文調報第221集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『国道103号道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書VI —上野遺跡—』秋文調報第222集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『山崎遺跡発掘調査報告書』秋文調報第223集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『秋田外環状道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II —待入Ⅲ遺跡—』秋文調報第224集	秋田県教育委員会
秋田城（事）	『秋田城跡 平成3年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
秋田城（事）	『秋田城跡調査事務所研究紀要II秋田城出土文字資料集II』	秋田市教育委員会

- 西郷 泰時他 「本荘市上谷地遺跡について—山理櫛推定地の調査—」
 利部 修 「竹原遺跡の須恵器編年」
 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第7号 秋田県埋蔵文化センター
 西谷 忠師 「秋田県横手市富ヶ沢周辺の考古地磁気」
 『秋田大学鉱山学部資源地学研究施設報告』第57号 秋田大学
 鹿角市教育委員会 「小枝指館跡発掘調査報告書」 鹿角市教育委員会
 羽後町教育委員会 「大久保郡山遺跡詳細分布調査報告書」
 羽後町文化財発掘調査報告書第11集 羽後町教育委員会
 船木 義勝 「払田藩と古代の東北」『考古学ゼミナール 古代を発掘する』 六興出版
 鈴木 拓也 「陸奥・出羽の公出挙制」『川内古代史論集』第6号 東北大学古代史研究会
 熊谷 公男 「平安初期における征夷の終焉と蝦夷支配の変質」
 『東北学院大学東北文化研究所紀要』第24号 東北学院大学東北文化研究所
 桑原 滋郎 「城柵を中心とする古代官衙」
 今泉 隆雄 「律令國家とエミシ」
 熊田 亮介 「奥羽の神々」
 峯田 慶信 「安倍氏・清原氏・藤原氏」
 『新版 古代の日本』第9巻 東北・北海道 角川書店
 関口 明 「蝦夷と古代國家」 吉川弘文館
 新野 直吉 「ヤマトの進出とエミシの対応」
 桑原 滋郎 「多賀城跡」
 高橋 崇 「古代東北・エミシを知る基礎知識」
 『歴史読本 特集 古代東北 エミシの謎』第37巻17号 新人物往来社
 熊谷 公男 「古代史からみた「柳之御所」跡—古代城柵との比較を中心として—」
 『月刊歴史手帖』第20巻10号 名著出版
 田牧 久穂 「元慶の乱・私記 古代秋田の住民闘争」 無明舎出版
 寒川 旭 「地震考古学」 中公新書1096 中央公論社
 笹山 晴生 「「東人」と東国経営」『新版古代の日本』第8巻 関東 角川書店
 阿部 義平 「秋田県能代市寒川遺跡の発掘調査」『歴博』第55号 国立歴史民俗博物館
 新野 直古他 「複眼で見る 環日本海の古代」 秋田魁新報社
 鈴木 拓也 「古代出羽の軍政」『国史談話会雑誌』第33号 東北大学国史研究室
 若松 鉄四郎 「能代市山本郡における九世紀の堅穴住居跡の概要」
 『年報能代市史研究』第2号 能代市史編さん室
 新野 直古 「古代日本と北の海みち」『芸林』第41巻1号 芸林会
 熊田 亮介 「蝦夷と古代國家」『日本史研究』第356号 日本史研究会

1993年

- 新野 直古他 「座談会 陸奥・出羽を再発見する」『古代日本史最前線』
 文春文庫ビジュアル版 文藝春秋
 むめ ひろし 「地名と歴史文獻の再吟味」『並み寄路布』第3号 奥羽山脈の古代を考える会
 鬼頭 清明 「古代木簡の基礎的研究」 塙書房
 平川 南 「秋田城跡出土の上総国関係木簡」『千葉県史研究』創刊号 千葉県
 金曜会 「最北の古代城柵官衙遺跡 史跡秋田城跡」 秋田城を語る友の会

- | | | |
|-----------|--|-------------|
| 本郷 洋治 | 『出羽山北の古代史をあるく』 | 秋田文化出版 |
| 伊藤 武士 | 「秋田城跡 平成4年度発掘調査の概要」 | |
| 児玉 肇 | 「弘田欄跡—第92・93次調査の概要—」 | |
| 佐藤 禎宏他 | 「山形県八森遺跡（第13・14次調査）」 | |
| 小松 正夫 | 「秋田県の祭祀遺跡」
『第19回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 | 城柵検 |
| 弘田欄（事） | 『弘田欄跡—第92・93次調査概要— 弘田欄跡調査事務所年報1992』 | 秋田県教育委員会 |
| 児玉 肇 | 「弘田欄跡の調査（第92・93次）」
『平成4年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 | 秋田県埋文センター |
| 弘田欄（事） | 「弘田欄跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報11（平成4年度）』 | 秋田県埋蔵文化センター |
| 柴田 陽一郎 | 「秋田県内における土製支脚について」 | |
| 利部 修 | 「下森根遺跡出土土師器の再検討—東北地方北部における位置付けを中心に—」 | |
| 笹山 晴生 | 「『講演録』古代出羽の史的位置」
『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第8号 | 秋田県埋文センター |
| 秋田城（事） | 『秋田城跡 平成4年度秋田城跡発掘調査概報』 | 秋田市教育委員会 |
| 秋田市教育委員会他 | 『秋田市諏訪ノ沢遺跡』 | 秋田市教育委員会 |
| 鹿角市教育委員会 | 『地蔵野館跡発掘調査報告書』鹿角市文化財調査資料47 | 鹿角市教育委員会 |
| 小松 正夫 | 「秋田城とその周辺地域の土器様相」『第18回古代城柵官衙遺跡検討会
特集シンポジウム 北日本における律令期の土器様相』 | 城柵検 |
| 船木 義勝他 | 「秋田市松木台Ⅱ遺跡の須恵器」『秋田県立博物館研究報告』第18号 | 秋田県博 |
| 日野 久 | 「文化財レポート 史跡秋田城跡の発掘調査」『秋大史学』第39号 | 秋田大学史学会 |
| 平川 南 | 「『研』墨書土器論」『山梨県史研究』第1号 | 山梨県 |
| 利部 修 | 「秋田県・横手地方の須恵器編年」『東日本における古代・中世窯業の諸問題』
大戸古窯跡群検討会・会津若松市教育委員会 | |
| 川村 公一 | 『森古路—過去から未来へ—モリトピア選書2』
建設省東北地方建設局森古山ダム工事事務所 | |
| 羽後町教育委員会 | 『福島遺跡ほか発掘調査報告書—柏原古墳群・福島遺跡—』
羽後町文化財調査報告書第12集 | 羽後町教育委員会 |
| 羽後町教育委員会 | 『町内遺跡発掘調査報告書—輻内遺跡・大久保（杉宮）遺跡—』
羽後町文化財調査報告書第13集 | 羽後町教育委員会 |
| 八幡町教育委員会 | 『八森遺跡—第11～14次発掘調査報告』
八幡町埋蔵文化財調査報告書第4集 | 八幡町教育委員会 |
| 児玉 肇 | 「文化財レポート 秋田県弘田欄跡発掘調査の近況」『日本歴史』第539号 | 吉川弘文館 |
| 小松 正夫 | 「秋田城の井戸底の墨画博」 | |
| 工藤 雅樹 | 「蝦夷の世界の出土文字」 | |
| 工藤 雅樹 | 「北海道・東北の遺跡解説 弘田欄跡」 | |
| 工藤 雅樹 | 「城柵」
『考古学の世界』第1巻 北海道・東北 | ぎょうせい |
| 坪井 清足 | 「歴史学と遺跡学—わが国の史跡指定を振り返って」
『新版 古代の日本』第1巻 古代史総論 | 角川書店 |
| 木本 好信 | 「仲麻呂の雄勝城造営と大神神社」『藤原仲麻呂政権の基礎的考察』 | 高科書店 |
| 平川 南 | 「地方の木簡」 | |

- 平川 南 「東国出土の漆紙・漆紙文書」
『古代東国と木簡』 雄山閣出版
- 新野 直吉 「東北の大反乱（前九年、後三年の役）」『黄金の平泉 藤原一族の時代』
日本放送出版協会
- めめ ひろし 「雄勝城周辺の古代史の考察（上）」『北方風土』第26号 北方風土社
- 桜田 隆 「砂底」土器考」『考古論聚—久保哲三先生追悼論文集』 真陽社
- 今泉 隆雄 「東北の城柵はなぜ設けられたか」『新視点日本の歴史』第三卷古代編Ⅱ 新人物往來社
- 坂田 泉 「軍政基地としての城柵—情報伝達を考え、柵間を結ぶ東西線が北へと進む」
- 新野 直吉 「災異を鎮謝し、夷狄を教誘せよ」
- 島田 亮三 「金沢権攻防線」
- 小西 秀典 「復元・弘田柵」
『歴史群像シリーズ 34 藤原四代』 学習研究社
- 斎藤 泰時 「鹿果町の埋蔵文化財について～胡桃館遺跡を中心に～」『おんこ』第5号
鹿果町文化遺産保存会
- 小川 雅志 「「夷」字籀（墨）書について」『海峽をつなぐ日本史』 三省堂
- 熊田 亮介 「「日本」の成立と蝦夷」
『別冊歴史読本 天皇と日本を起源から考える』第18巻20号 新人物往來社
- 光谷 拓実 「年輪による年代測定法」『新版 古代の日本』第10巻 古代資料研究の方法 角川書店
- 仙南村 『仙南村郷土誌』 仙南村
- 大澤 正巳 「上野遺跡出土鉄器と宋代川流域遺跡検出製鉄関連遺物の金属学的調査」
『秋田考古学』第42・43合併号 秋田考古学協会
- 齋藤 隆一 「東日流誌」についての総合的批判」『季刊邪馬台国』第52号 梓青院
- めめ ひろし 「雄勝城周辺の古代史の考察（中）」『北方風土』第27号 北方風土社
- 中西 進編 『エミシとは何か』角川選書247 角川書店
- 新野 直吉 「古代環日本海外交の本態の一面」『政治経済史学』第325号 政治経済史学会

1994年

- 伊藤 武士 「秋田城跡平成5年度発掘調査の概要」
- 児玉 準 「弘田柵跡—第94・95次調査の概要—」
- 佐藤 庄一 「城輪柵跡と周辺の地割り」
『第20回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 城柵検
- 弘田柵（事） 『弘田柵跡—第94～97次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1993 秋田県教育委員会
- 弘田柵（事） 『弘田柵跡』『秋田県埋蔵文化財センター 年報12（平成5年度）』
秋田県埋文センター
- 児玉 準 「弘田柵跡の調査（94～97次）」
『平成5年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋文センター
- 秋田城（事） 『秋田城跡 平成5年度秋田城跡発掘調査概報』 秋田市教育委員会
- 山中 敏史 『古代地方官衙遺跡の研究』 塙書房
- 利部 修 「弘田柵跡の平瓦調査文考」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第9号
秋田県埋文センター
- 秋田県教育委員会 『秋田ふるさと紀行ガイドブック』 秋田県教育委員会
- 柴田 陽一郎 「秋田県」『日本土器製塩研究』 青木書店

- | | | |
|-----------|---|-------------|
| 熊田 亮介 | 『古代国家と東北の城柵』『日本の古代国家と城』 | 新人物往来社 |
| 児玉 準 | 『秋田県 弘田欄跡』 | |
| 戸田 有二 | 『官衙に於ける互益の終末』 | |
| 小野 忍 | 『山形県 城輪欄跡』『山形県 八森道跡』
『古代官衙の終末をめぐる諸問題—第1分冊問題提起・各地方の概要—』 | 東日本埋蔵文化財研究会 |
| 日野 久 | 『秋田県 秋田城』 | |
| 小野 忍 | 『遺構から見た古代官衙の終末と様相 東北地方の概要—山羽南半の古代官衙の概要—』
『古代官衙の終末をめぐる諸問題—追加資料報告集—』 | 東日本埋蔵文化財研究会 |
| 羽後町教育委員会 | 『福島道跡ほか発掘調査報告書—新城川遺跡・羽後病院敷地道跡—』
羽後町文化財調査報告書第14集 | 羽後町教育委員会 |
| ニッ井町教育委員会 | 『人川口館跡発掘調査報告書』ニッ井町埋蔵文化財調査報告書
第4集 | ニッ井町教育委員会 |
| 進藤 秋輝 | 『古代城柵の設置とその意義』『北日本の考古学』 | 吉川弘文館 |
| 下畑町教育委員会 | 『弘田欄跡発掘調査報告書』 | 下畑町教育委員会 |
| 渡部 育子 | 『七・八世紀能代研究の現状と課題』『年報能代市史研究』第3号 | 能代市史編さん室 |
| 鹿角市教育委員会 | 『赤坂A遺跡—第52回団体冬季スキー競技大会施設整備事業に伴う発掘調査報告書—』鹿角市文化財調査資料50 | 鹿角市教育委員会 |
| 新野 直吉他 | 『地方史研究の現状②秋田県』『日本歴史』第550号 | 吉川弘文館 |
| 酒田市教育委員会 | 『山形県酒田市 史跡城輪欄跡』 | 酒田市教育委員会 |
| 角田 文衛監修 | 『平安時代史事典』 | 角川書店 |
| 歴史環境計画研究所 | 『特集 弘田欄跡』『歴史通信』第6号 | 歴史環境計画研究所 |
| 木村 清幸 | 『能代地方の製鉄地名について—地名で探る鉄の古代史』
『秋田地名研究年報』第10号 | 秋田地名研究会 |
| ぬめ ひろし | 『雄勝城周辺の古代史の考察(三)』『北方風土』第28号 | 北方風土社 |
| 熊田 光介 | 『古代国家と蝦夷・華人』 | |
| 平川 南 | 『漆紙文書と地方行政』
『岩波講座 日本通史』第4巻 古代3 | 岩波書店 |
| 小松 正夫他 | 『秋田城跡出土の胸衣帯』『考古学ジャーナル』第376号 | N・S社 |
| 新野 直吉 | 『田村麻呂と阿豆流為』 | 吉川弘文館 |
| 平川 南 | 『よみがえる古代文書』 | 岩波書店 |
| 伊藤 武士 | 『大沢嘉跡1遺跡の須恵器について』『秋田考古学』第44号 | 秋田考古学協会 |
| 小松 正夫 | 『古代山羽国における北方交流の接点について』
『北方史の新視座 対外政策と文化』 | 雄山閣 |
| 秋田県埋文センター | 『もうすぐ歴史が見えてくる』 | 秋田県埋文センター |
| 児玉 準 | 『秋田 弘田欄跡』『木簡研究』第16号 | 木簡学会 |
| 新野 直吉 | 『古代日本と北の海みち』 | 高科書店 |
| 八木 光則 | 『奥六部・山北三部の城と柵』 | |
| 上藤 清泰 | 『古代末・中世初期の北奥—考古学資料からの考察—』 | |
| 本堂 寿一 | 『所謂蝦夷館から柳之御所まで』
『歴史評論』第535号 | 校倉書房 |
| 大平 聡 | 『堀の系譜』『城と館を掘る・読む』 | 吉川弘文館 |

工藤 雅樹	『考古学から見た古代蝦夷』『日本考古学』第1号	日本考古学協会
上小阿仁村	『上小阿仁村史 通史編』	上小阿仁村
佐藤 信	『古代国家と日本海・北日本』『中世都市十三溪と安藤氏』	新人物往来社
西谷 隆	『秋田城跡出土の「和同開珎銀錢」について』『出土銭貨』2	出土銭貨研究会

1995年

西谷 隆	「秋田城跡—第62次・63次調査の概要—」	
児玉 準	「弘田柵跡—第99・100次調査の概要—」	
児玉 準	「弘田柵跡調査20周年の成果と課題」	
利部 修	「横手盆地の古代遺跡と弘田柵跡」	
谷地 薫	「楕円建物について」	
高橋 学	「横手盆地の文字資料について—墨書土器、簡書・刻書土器を中心に—」	
	『第21回古代城柵官衙遺跡検討会資料』	城柵検
秋田県教育委員会	『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書XIV—古野遺跡—』	
	秋文調報第253集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『弘田柵跡—第102次調査—』秋文調報第257集	秋田県教育委員会
弘田柵(事)	『弘田柵跡—第98～101次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1994	秋田県教育委員会
弘田柵(事)	『弘田柵跡』『秋田県埋蔵文化財センター 年報13(平成6年度)』	秋田県埋文センター
児玉 準	「弘田柵跡の調査(第98～102次)」	
	『平成6年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』	秋田県埋文センター
弘田柵(事)	『弘田柵跡を撮る—弘田柵跡調査20周年記念誌—』	弘田柵(事)
秋田城(事)	『秋田城跡 平成6年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
仙北町教育委員会	『史跡弘田柵跡環境整備事業報告書』	仙北町
高橋 学	「秋田県内出土の墨書土器、簡書・刻書土器」	
利部 修	「砂底須恵器の一考察」	
阿部 義平	「『講演録』古墳周辺文化の研究展望」	
	『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第10号	秋田県埋文センター
本任市教育委員会	『上谷地遺跡詳細分布調査報告書—第1次調査概報—』	
	本任市文化財調査報告書第10集	本任市教育委員会
羽後町教育委員会	『福島遺跡ほか発掘調査報告書—芥森遺跡—』	
	羽後町文化財調査報告書第15集	羽後町教育委員会
男鹿市	『男鹿市史 上巻』	男鹿市
養島 栄紀	「阿倍比羅夫の北征と東北アジア世界」『日本古代の伝承と東アジア』	吉川弘文館
養島 栄紀	「古代出羽地方の対北方交流」『史学研究集録』第20号	國學院大學
東由利町教育委員会	『宮ノ前遺跡発掘調査概要』	東由利町教育委員会
能代市	『能代市史 資料編 考古』	能代市
高橋 学	「秋田県における平安時代の防塁集落」	
工藤 雅樹	「北日本の平安時代環濠集落・高地性集落」	
	『考古学ジャーナル』第387号	N・S社
平山 裕人	「阿部比羅夫の遠征とアイヌ・オオツク人」『季刊邪馬台国』第56号	梓書院
森 浩一他	「戦後50年 考古学は何をしてきたか」『中央公論』第1325号	中央公論社
伊藤 祐紀	「古代の地名と弘田柵跡が織り成す不思議な角度」『北方風土』第30号	北方風土社

虎尾 俊哉	『古代東北と律令法』	古川弘文館
秋田考古学協会	『みちのく古代トイレ（便所）シンボ』	秋田考古学協会
富樫 泰時	「昭和五・六年頃の弘田權跡保存運動」 『月刊文化財発掘出土情報』第153号	ジャパン通信情報センター
今泉 隆雄	「秋田城の初歩的考察」『律令国家の地方支配』	古川弘文館
熊谷 公男	「九世紀奥郡騒乱の歴史的意義」『律令国家の地方支配』	古川弘文館
熊田 亮介	「秋田城と秋田郡」『秋田市史研究』第4号	秋田市史編さん室
坂井 秀弥	「古代北日本考古学の諸問題」『新潟県考古学談話会会報』第15号	新潟県考古学談話会
峰浜村	『峰浜村誌』	峰浜村
平川 南	「古代国府関係資料集（その三）」『国立歴史民俗博物館研究報告』第63集	国立歴史民俗博物館
工藤 雅樹	「海峡をはさむ蝦夷文化—東北・北海道」『日本の古代第2巻 列島の地域文化』	中公文庫
三浦 圭介	「北奥・北海道地域における古代防衛性集落の発生と展開」 『国立歴史民俗博物館研究報告』第64集	国立歴史民俗博物館
船木 義勝	「秋田県の奈良・平安時代の墓制について」 『東日本における奈良・平安時代の墓制第1分冊』	第5回東日本埋蔵文化財研究会
沖田 貞敏	「弘田權の墳物について」『秋田自然史研究』第31号	秋田自然史研究会
1996年		
新野 直古	『やさしい謎解き 新・古代東北史』	歴史春秋出版
利部 修	「北日本の須恵器についての一考察」 『坂詰秀一先生還暦記念 考古学の諸相』	坂詰秀一先生還暦記念会
十文字町	『十文字町史』	十文字町
加藤 稔	「出羽国府遷移論」『山形史学研究』27・28・29（合併号）	山形大学教育学部
秋田県教育委員会	『ふるさと秋田の学び—出会い・発見・感動—』	秋田県教育委員会
弘田權（事）	『弘田權跡—第103～106次調査概要—』弘田權跡調査事務所年報1995秋田県教育委員会	
西谷 隆	「秋田城跡—第63次・64次調査の概要—」	
児玉 準	「弘田權跡—第103・105次調査の概要—」 『第22回古代城柵官衙遺跡検討会資料』	城柵検
弘田權（事）	「弘田權跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報14（平成7年度）』	秋田県埋文センター
児玉 準	「平成7年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料」	秋田県埋文センター
秋田県教育委員会	『秋田外環状道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—大平遺跡—』 秋文調報第264集	秋田県教育委員会
秋田城（事）	『秋田城跡 平成7年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
平川 南	「《講談録》漆紙文書が語る古代史」	
三辻 利一他	「竹原煎踏出土須恵器の胎土分析」 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第11号	秋田県埋文センター
国立歴史民俗博物館	「非文献資料の基礎的研究—古印—」報告書『日本古代印集成』	国立歴史民俗博物館
奈文研・埋文センター	「古代地方官衙遺跡関係文献目録」埋蔵文化財—ニュース81号	奈文研・埋文センター
富樫 泰時	「埋蔵文化財からみた横手地方の古代」『出羽路』第116号	秋田県文化財保護協会

- 渡部 育子 『続日本紀』天平九年正月丙申条・四月戊午条管見
『続日本紀研究』第300号 続日本紀研究会
- 森 郁雄 『グラフィティ・日本謎事典④奈良 1,300YEARS AGO』光文社文庫 光文社
- 小松 正夫 『秋田県』『第39回埋蔵文化財研究集会 古代の木製食器 第Ⅱ分冊』埋蔵文化財研究会
- 船木 義勝 『秋田県五城目町の雀館古代井戸跡から出土した黒色土器』
- 三辻 利一 『秋田県五城目町の雀館古代井戸跡から出土した黒色土器の胎土について』
『秋田県立博物館研究報告』第21号 秋田県博
- 仙北町教育委員会 『弘田欄跡第2次環境整備基本計画報告書』 仙北町
- 仙北町教育委員会 『地域個性形成プログラム策定報告書』 仙北町
- 岩城町 『岩城町史』 岩城町
- 本荘市教育委員会 『上谷地遺跡詳細分布調査報告書-第2次調査概報-』
本荘市文化財調査報告書第11集 本荘市教育委員会
- 能代市教育委員会他 『東北電力(株)北奥幹線新設工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
-小友Ⅲ遺跡-』 能代市教育委員会
- 二ツ井町教育委員会 『東北電力(株)北奥幹線新設工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
-茶臼ノ木遺跡・加代神館跡・竜毛沢Ⅲ遺跡
・竜毛沢Ⅳ遺跡・竜毛沢Ⅴ遺跡-』 二ツ井町教育委員会
- 羽後町教育委員会 『弁天森遺跡発掘調査報告書』羽後町文化財調査報告書第16集 羽後町
- 鈴木 拓也 『陸奥・出羽の調嶽と蝦夷の饗給』『史学雑誌』第106編6号 史学会
- 富樫 泰時 『年輪が語る島海山』『教育秋田』No.564 秋田県教育委員会
- 熊田 亮介 『蝦夷と北の城権』『古代王権と交流3 越と古代の北陸』 名著出版
- 簗島 栄紀 『古代北海道における「肅慎」と「渡嶋蝦夷」』
- 熊田 亮介 『古代国家と南島・華人』
『歴史評論』555号 校倉書房
- 高橋 崇 『古代東北と棚戸』 吉川弘文館
- 三浦 圭介 『文化財レポート 高屋敷館遺跡(波岡町)の調査』『日本歴史』第578号 吉川弘文館
- 八木 光則 『蝦夷社会の地域性と自主性-陸奥を中心として-』
- 鈴木 靖民 『古代蝦夷の世界と交流』
- 斎藤 利男 『蝦夷社会の交流と「エソ」の世界への変容』
- 小松 正夫 『元慶の乱期における出羽国の蝦夷社会』
- 平野 卓治 『蝦夷社会と東国の交流』
『古代王権と交流1 古代蝦夷の世界と交流』 名著出版
- 渡部 育子 『律令国家と越・越後』『古代王権と交流3 越と古代の北陸』 名著出版
- 児玉 準 『秋田県 4. 弘田欄跡』『発掘された地痕跡』 埋蔵文化財研究会
- 小松 正夫他 『文化財レポート 史跡秋田城跡の最近の発掘調査と整備』『日本歴史』第579号
吉川弘文館
- 平野 邦雄他 『木簡が語る古代史 上 都の変遷と暮らし』 吉川弘文館
- 宮 宏明 『余市大川遺跡出土古代の文字資料をめぐって』『北奥古代文化』第25号
北奥古代文化研究会
- 新野 直吉 『歴史学研究と考古学成果』『政治経済史学』第363号 政治経済史学会
- 森 郁雄 『グラフィティ・日本謎事典⑤平安 1,200YEARS AGO』光文社文庫 光文社
- 渡部 育子 『七・八世紀における越後と出羽』『日本歴史』第581号 吉川弘文館
- 高橋 学 『古代末の出羽』『季刊考古学』第57号 雄山閣

- 小松正夫 「秋田県の7世紀以前の土器」「秋田県の8世紀の土器」「秋田県の9世紀の土器」
「秋田県の10世紀の土器」『日本土器事典』 雄山閣
- 坂井 秀弥 「日本海側の古代城柵と北方社会」『考古学ジャーナル』第411号 N・S社
- 1997年
- 増田町 『増田町史』 増田町
- 八木 光則 「東北部の諸問題」
- 船木 義勝 「秋田県の概要」
『第6回東日本埋蔵文化財研究会 遺物からみた律令国家と畿夷
—資料集1第分冊—』 東日本埋蔵文化財研究会北海道大会準備委員会
- 鈴木 靖民 「北の古代の出土文字資料—北海道, 本州・アジアへ—」『本郷』第9号 吉川弘文館
- 鈴木 拓也 「陸奥・奥羽の浮浪逃亡政策」『日本歴史』第584号 吉川弘文館
- 利部 修 「平安時代東北の長頸瓶」『生産の考古学』 同成社
- 伊藤 武上 「秋田城跡平成8年度発掘調査について」
- 児玉 準 「弘田権跡—第107次調査の概要—」
- 児玉 準 「弘田権跡の官衙地域」
『第23回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 城柵検
- 弘田権(事) 『弘田権跡—第107~109次調査概要—』弘田権跡調査事務所年報1996秋田県教育委員会
- 弘田権(事) 「弘田権跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報15(平成8年度)』秋田県埋文センター
- 児玉 準 「弘田権跡(第107~109次調査)」
『平成8年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋文センター
- 秋田県教育委員会 『池内遺跡—国道103号道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—
遺構篇』秋文調報第268集 秋田県教育委員会
- 秋田城(事) 『秋田城跡 平成8年度秋田城跡発掘調査概報』 秋田市教育委員会
- 利部 修 「山羽園の丸底長胴甕をめぐって」
『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第12号 秋田県埋文センター
- 秋田市史古代部会 『古城廻窯跡発掘調査報告』秋田市史叢書1 秋田市史編纂室
- 渡部 育子他 「大清水台Ⅱ遺跡の試掘調査について」『秋大史学』第43号 秋田大学史学会
- 赤沼 英男他 「鉄の生産と流通からみた北方世界」
『国立歴史民俗博物館研究報告』第72集 国立歴史民俗博物館
- 平野 邦雄他 『木簡が語る古代史 上』 吉川弘文館
- 多賀城市 『多賀城市史』第1巻 多賀城市
- 鈴木 拓也 「弘田権と雄勝城に関する試論」『東北文化研究室紀要』第38集
- 隠川 知志 「安倍氏の時代」『岩手史学研究』第80号 岩手史学会
- 鎌江 宏之 「秋田城跡出土土器名簡の基礎的考察—形態分類についての試論—」
『青森県史研究』第1号 青森県
- 福留 高明 「古代秋田城下の大地震」『出羽路』第119号 秋田県文化財保護協会
- 鹿角市教育委員会 『特別史跡大湯環状列石発掘調査報告書(13)』鹿角市文化財資料58 鹿角市教育委員会
- 仙北町教育委員会 『弘田権跡(弘田地区農業集落排水事業に伴う事前発掘調査概要報告書)』
仙北町文化財調査報告書第2集 仙北町役場 土地改良課
- 五十嵐 一治 「秋田県内出土の積物遺体集成(1)」『人間・遺跡・遺物3』 発掘者談話会
- 伊藤 祐紀 「秋田城に続き弘田権跡にもあった正三角形の聖域」『北方風土』第34号 北方風土社

- 伊藤 武士 「出羽における10・11世紀の土器様相」
『シンポジウム北陸の10・11世紀代の土器様相』 北陸古代土器研究会
- 高橋 学 「秋田県山本郡峰浜村湯ノ沢遺跡」『日本考古学年報48（1995年版）』日本考古学協会
- 大阪府立近つ飛鳥博物館 「『あつれき』と『交流』—古代律令国家とみちのくの文化」
大阪府立近つ飛鳥博物館図録13 大阪府立近つ飛鳥博物館
- 熊田 亮介 「古代蝦夷論の課題」『東北の歴史再発見—国際化の時代をみつめて』 河出書房新社
- 小松 正夫 「秋田県考古学の動向と歴史的景観」
- 熊田 亮介 「雄勝城と弘田柵跡」
『あきた史記 歴史論考集』第4号 秋田姓氏家系研究会
- 日本考古学協会 『蝦夷・律令国家・日本海—シンポジウムⅡ・資料集』 日本考古学協会
- 日本考古学協会 『日本考古学協会1997年度大会研究発表要旨』 日本考古学協会
- 小松 正夫 「古城廻廊跡と秋田城」『秋田市史研究』第6号 秋田市史編さん室
- 伊藤 武士 「出羽における10・11世紀の土器様相」
『北陸古代土器研究』第7号 北陸古代土器研究会
- 山中 章 「桓武朝の新流通構造—壹Gの生産と流通—」『古代文化』第49巻11号
- 児玉 準 「秋田・弘田柵跡」『木簡研究』第19号 木簡学会
- 熊谷 公男 「古代城柵の基本的性格をめぐって」『国史談話会雑誌』第38号 東北大学国史談話会

1998年

- 工藤 雅樹 『古代蝦夷の考古学』 吉川弘文館
- 進藤 靖 「秋田城跡 平成9年度発掘調査について」
- 児玉 準 「弘田柵跡—平成9年度調査の概要—」
- 小松 正夫 「城柵と地域社会の変容—秋田平野の様相」
- 高橋 学 「城柵と地域社会の変容—横手盆地の様相」
『第24回古代城柵官衙遺跡検討会資料』 城柵検
- 高橋 学 「米代川流域」
- 小松 正夫 「秋田平野」
- 高橋 学 「横手盆地」
『第24回古代城柵官衙遺跡検討会資料 東北地方の古代集落—第2分冊—』 城柵検
- 宮下健司他 『博物館学芸員教材テキスト—考古学—統編—』 財団法人放送大学教育振興会
- 熊谷 公男 「古代蝦夷の文化」『白い国』第498号 東北電力株式会社地域交流部
- 茨城県立歴史館 『特別展 祈りの歴史と民俗 絵馬』 茨城県立歴史館
- 鷲森 浩幸 「地方官衙遺跡出土の木簡」『木簡—古代からのメッセージ—』 大修館書店
- 秋田県教育委員会 『湯ノ沢遺跡—県営ほ場整備事業水沢地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—』 秋文調報第273集 秋田県教育委員会
- 秋田県教育委員会 『法泉坊沢Ⅱ遺跡—地方特定道路整備工事鹿果町湯車工区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—』 秋文調報第278集 秋田県教育委員会
- 弘田柵(事) 『弘田柵跡—第110～112次調査概要—』 弘田柵調査事務所年報1997 秋田県教育委員会
- 弘田柵(事) 「弘田柵跡」『秋田県埋蔵文化財センター 年報16（平成9年度）』 秋田県埋文センター
- 児玉 準 「弘田柵跡（第110～112次調査）」
『平成9年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』 秋田県埋文センター
- 利部 修 「東北以北の双耳環と環状凸帯付長頸瓶」

	『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第13号	秋田県埋文センター
秋田城(事)	『秋田城跡 平成9年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会
田中 広明	『阿司館の基礎的研究』『研究紀要』第14号	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
鈴木 拓也	『古代東北の支配構造』	吉川弘文館
能代市	『能代市史 資料編 古代・中世1』	能代市
西目町	『西目町史 資料編』	西目町
象潟町	『象潟町史 資料編1』	象潟町
進藤 靖	『史跡秋田城跡について』『秋人史学』第44号	秋田大学史学会
本荘市教育委員会	『上谷地遺跡詳細分布調査報告書—第4次調査—』 本荘市文化財調査報告書第15集	本荘市教育委員会
福田 和夫	『弘田柵跡で発掘された墨書土器「小勝」について』 『秋田史苑』第12号	秋田姓氏家系研究会
熊谷公男	『蝦夷論と東北論』『歴史の中の東北—日本の東北・アジアの東北』	河出書房新社
斎宮歴史博物館	『企画展 「みちのくのみやび」展』	斎宮歴史博物館
新野 直吉	『ジュニア版古代東北史』	文獻出版
工藤 雅樹	『蝦夷と東北古代史』	吉川弘文館
児玉 準	『弘田柵跡調査と出土絵馬』『出羽路』第123号	秋田県文化財保護協会
石巻文化センター	『企画展 古代の瓦—東北の役所と瓦屋根—』	石巻文化センター
児玉 準	『秋田・弘田柵跡』『木簡研究』第20号	木簡学会
口野 久	『秋田城』	
小西 秀典	『弘田柵』 『別冊歴史読本 野外復元日本の歴史』第23巻55号	新人物往来社

1999年

新野 直吉	『論点あきた史』	秋田魁新報社
弘田柵(事)	『弘田柵跡—第113次・114次調査概要—』弘田柵跡調査事務所年報1998	秋田県教育委員会
伊藤 武士	『秋田城跡—平成10年度第72次調査の概要—』	
児玉 準	『弘田柵跡 第113・114次調査の概要』 『第25回古代城柵官衙遺跡検討会資料』	城柵検
弘田柵(事)	『弘田柵跡』『秋田県埋蔵文化財センター 年報17(平成10年度)』	秋田県埋文センター
児玉 準	『弘田柵跡(第113・114次調査)』 『平成10年度秋田県埋蔵文化財発掘報告会資料』	秋田県埋文センター
秋田県教育委員会	『池内遺跡—国道103号道路改修工事事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—』秋文調報第282集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『福田谷地遺跡—一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書I—』秋文調報第283集	秋田県教育委員会
秋田県教育委員会	『脇神館跡—県道木戸石鷹巣線建設事業に係る埋蔵文化財調査報告書—』秋文調報第284集	秋田県教育委員会
利部 修	『秋田県考古学関係文献抄録(1)—須恵器・瓦—』 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第14号	秋田県埋文センター
秋田城(事)	『秋田城跡 平成10年度秋田城跡発掘調査概報』	秋田市教育委員会

別 編 2

文字資料集成

一 木 簡

凡 例

- 一 「拓田欄跡Ⅰ政庁跡Ⅰ」別編一には、第一号から第三号木簡を収録し、その後、拓田欄跡調査事務所年報一九八五で釈文の変更等を掲載した。本稿では、第二四号木簡以降の木簡を収録した。
- 二 実測図および写真図版は原則として原寸であるが、三九・六一・八七号木簡は原寸の七〇％に縮小してある。詳細な数値については釈文下段を参照されたい。
- 三 木簡番号は、拓田欄調査事務所の木簡登録番号である。
- 四 釈文下段の数字は、木簡の長さ×幅×厚さを、() 内は欠損を指す。単位はミリメートルである。
- 五 釈文に加えた符号は、木簡学会で定めたものを使用した。以下「木簡研究」より抜粋。
- 「」 木簡の上端ならびに下端が原形をとどめていることを示す
(端とは木目方向の上下両端をいう)。
- < 木簡の上端・下端に切り込みのあることを示す。
穿孔のあることを示す。
- 欠損文字のうち字数の確認できるもの。
- 欠損文字のうち字数が推定できるもの。
- 欠損文字のうち字数の数えられないもの。
- 合点
- ・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

- 〔 〕 校訂に関する注で、原則として釈文の右傍に付し、本文に置き換えるべき文字を含む場合。
- () 右以外の校訂注および説明注。
- カ 筆者、編者が加えた注で疑問の残るもの。
- 六 木簡の形式番号は「木簡研究」から抜粋した。

- 二一型式 短冊型。
- 一九型式 一端が方頭で他端は折損・腐蝕で原形が失われたもの。
- 三二型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせたもの。
- 五一型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。
- 六五型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。
- 八一型式 折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。
- 九一型式 削屑。

第二四号木簡

墨痕が認められる

(39) × (8) × (2)

〇八一

第五五次調査 SX七二五

第二五号木簡

墨痕が認められる

(47) × (18) × (4)

〇八一

第五五次調査 SX七二五

第二六号木簡

墨痕が認められる

(73) × (11) × (6)

〇六五

第五五次調査 SX七二五

第二七号木簡

墨痕が認められる

(126) × (6) × (7)

〇六五

第五五次調査 SX七二五

第二八号木簡

墨痕が認められる

(131) × (11) × (17)

〇六五

第五五次調査 SX七二五

第二九号木簡

 取部カ

〇九一

第六五次調査 SX七二五

第三〇号木簡

 廣カ

〇九一

第六五次調査 SX七二五

第三一号木簡

副

(189) × (20.5) × (18.5)

〇六五

第六五次調査 SX七二五

第三二号木簡

 義カ
 義カ

〇九一

第六五次調査 SX七二五

第三九号木簡

□ 志手古二 □ 本一

(326) × (10) × 5 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四〇号木簡

数 □ □ □

(365) × (30) × 7 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四一号木簡

□ □ 大伴

(67) × (12) × 2 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四二号木簡

荒 □

(59) × (12) × 3 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四三号木簡

子弟長 □ □ 毛野^{〔上〕}

(111) × (12) × 4 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四四号木簡

下毛野高祢
欠二人大伴 □ □ 紅^{〔用カ〕}
□ □

(283) × (12) × 11 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四五号木簡

□ □ ^{〔作カ昨日〕}
三宅部常 □ □ ^{〔裁カ〕}

(296) × (10) × 14 ○八一

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四六号木簡

白春米一斗六升[〔]
六月十八日[〕]

112 × 18 × 5 ○三三三

第一〇七次調査 SX 二一九一

第四七号木簡

□ □ 俗俗
□ □ □

(70) × (22) × 3 ○六五

第一〇七次調査 SX 二一九一

第五七号木簡 (請力)

(130) × (21) × 8 ○八一 第一〇七次調査 SX二一九

第五八号木簡

(201) × (11) × 13 ○八一 第一〇七次調査 SX二一九

第五九号木簡

具 狄藻肆拾

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六〇号木簡

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六一号木簡

子弟

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六二号木簡

山道 矢田部弓取

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六三号木簡

部弓取

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六四号木簡

(伴淨繼力)

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六五号木簡

有 有

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第六六号木簡

○九一 第一〇七次調査 SX二一九

第七七号木簡

□ □

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九 A

第七八号木簡

黄 廣 (他ニモ墨痕アリ)

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九 A

第七九号木簡

□ □

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九

第八〇号木簡

□ 文 □ □

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九

第八一号木簡

□

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九

第八二号木簡

□ □

○九一 第一〇七次調査 S B 二一八九

第八三号木簡

「六月廿九日勘蛙 □ □」 鯉 □ □

(213) × 27 × 4 ○六五 第一一二次調査 S X 二一〇六

第八四号木簡

□ □ □ 船

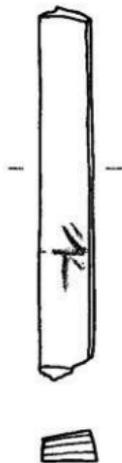
(207) × 12 × 13 ○六五 第一一二次調査 S X 二一〇六

第八五号木簡

□ □

○九一 第一一二次調査 S X 二一〇六

第26号木簡



第25号木簡



第24号木簡



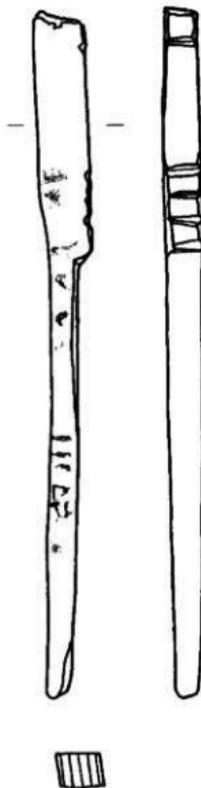
第29号木簡



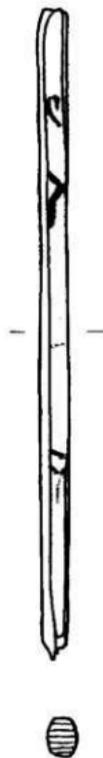
第30号木簡



第28号木簡



第27号木簡



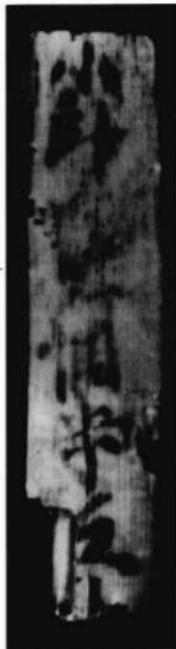
第31号木簡



第32号木簡



第33号木簡



角
 申請馬車
 名件馬車
 麻毛校字券
 下子表
 草





第35号木簡

仙傳十古付内太都宗
 川曾子榮大伴率人

負上 稅壹





第37号木簡



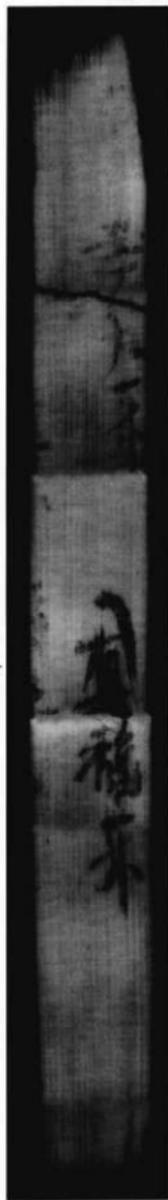
第36号木簡

第37号木簡



第36号木簡



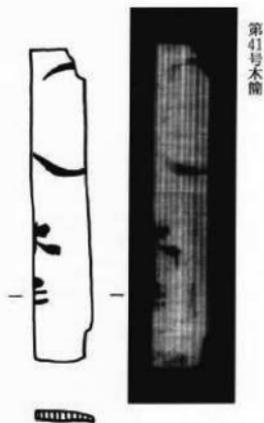


第39号木簡

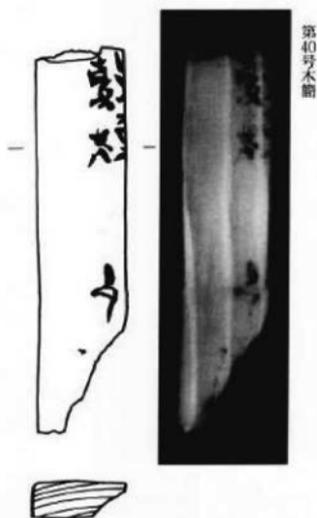


原寸の70%





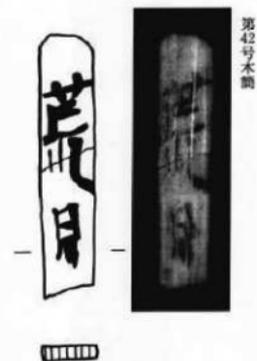
第41号木簡



第40号木簡

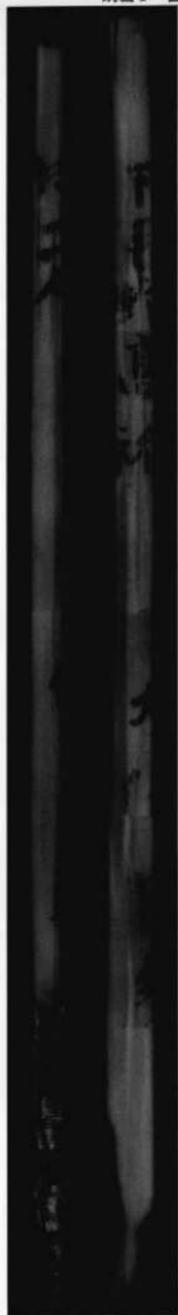


第43号木簡

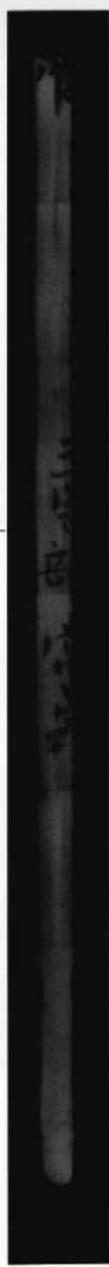


第42号木簡

第44号木簡



第45号木簡



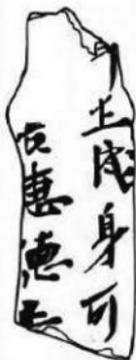


第46号木簡



第47号木簡

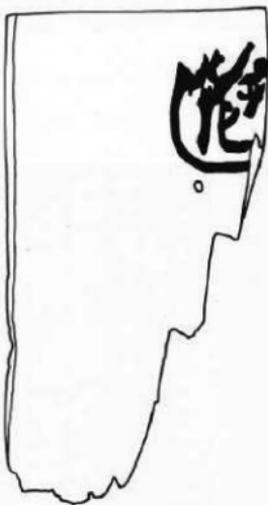
第48号木簡



第49号木簡

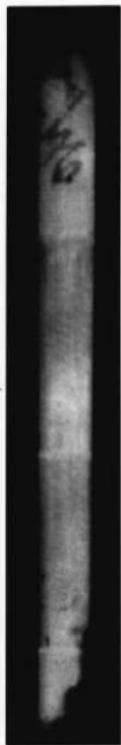


第50号木簡





名
答



第52号木簡



江
上

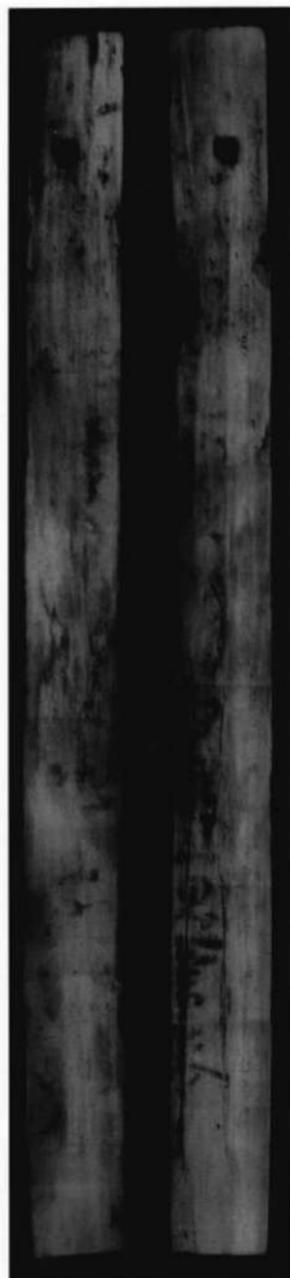


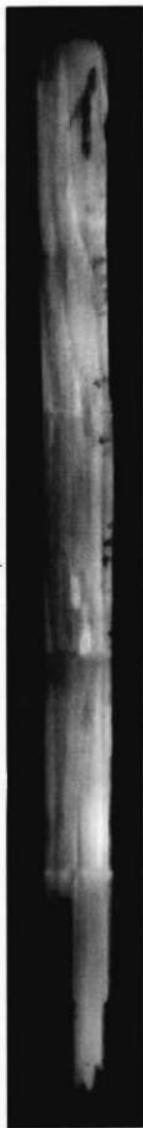
第51号木簡



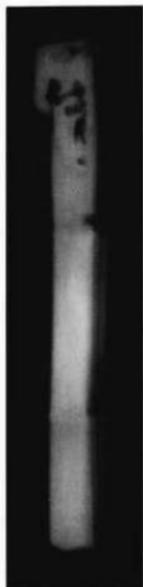
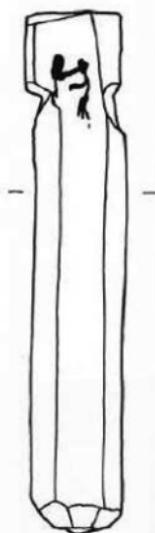
Handwritten text on a bamboo slip, showing several lines of characters in a cursive script. The characters are arranged in a vertical column, with some characters appearing to be connected or overlapping.

Handwritten text on a bamboo slip, showing several lines of characters in a cursive script. The characters are arranged in a vertical column, with some characters appearing to be connected or overlapping.





第55号木簡



第54号木簡

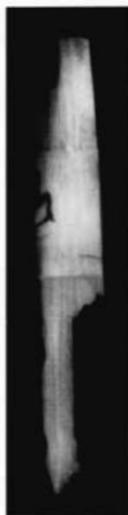


第57号木簡





第59号木簡



第60号木簡



第58号木簡



第61号木簡



第64号木簡



第65号木簡



原寸の70%

第62号木簡

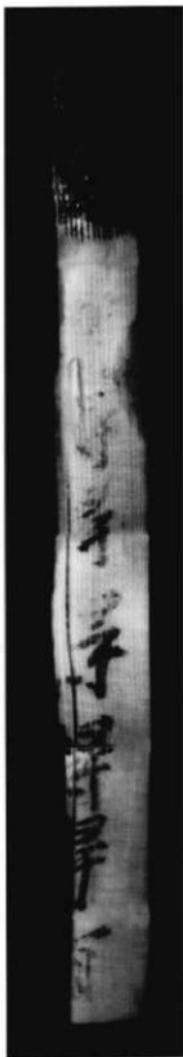


第63号木簡



第66号木簡





第71号木簡



第67号木簡



第68号木簡



第69号木簡



第70号木簡

第72号木簡



第73号木簡



第74号木簡



第75号木簡



第76号木簡





第78号木簡



第77号木簡



第80号木簡



第79号木簡



第82号木簡

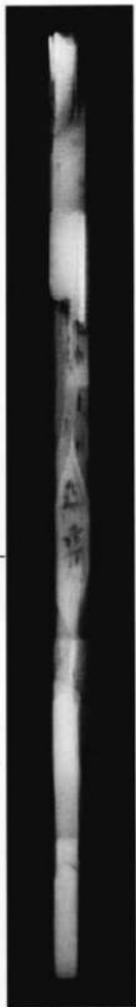


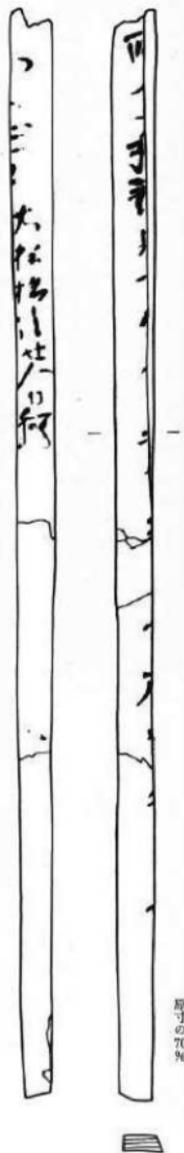
第81号木簡

第84号木簡

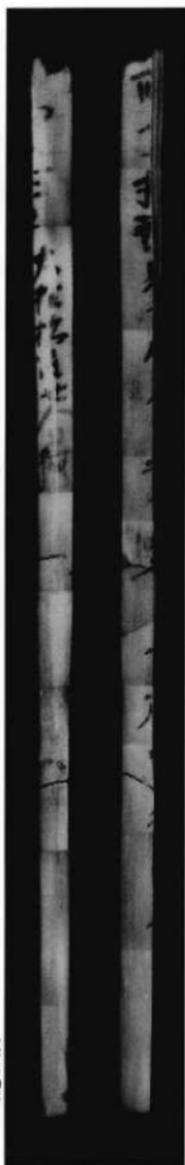


第84号木簡





原寸の70%



第87号木簡

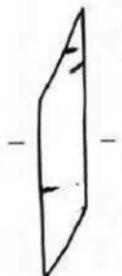
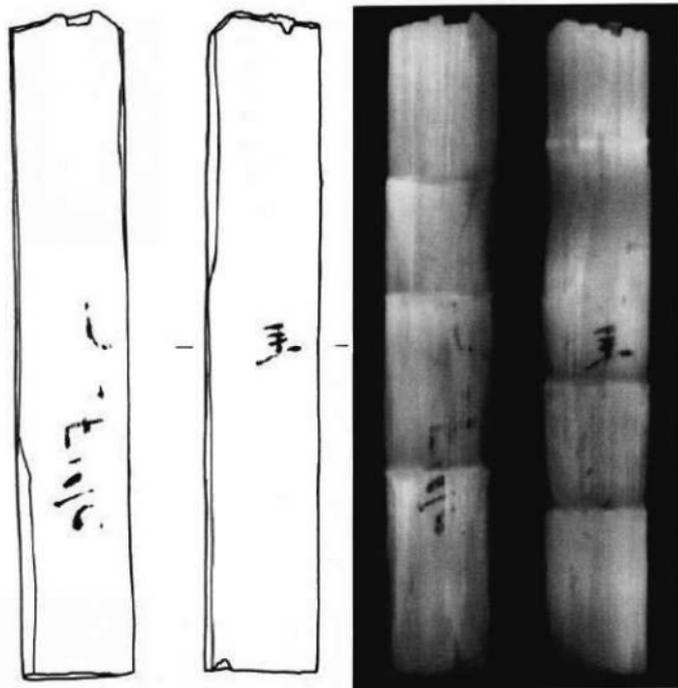


第85号木簡



第86号木簡

第88号木簡



第89号木簡



2 墨書・刻書文字

『弘田権跡Ⅰ-政庁跡-』では、墨書土器、墨書・刻書のある材木183点を掲載した。本稿ではその後に出土したものや、未報告の資料199点を収録した。

番号	文 字	器 種	器 形	部 位	調査回数	出 土 地 点
184	「長□」	須恵器	杯	体 外	10	F J67-4
185	「小勝借」カ	須恵器	杯	底 外	10	F H66-3
186	「小勝借」	須恵器	杯	底 外	65	Aベルト
187	「□」	須恵器	杯	底 外	68	S B811
188	「□」	須恵器	杯	底 外	68	不明
189	「較大」	須恵器	杯	底 外	68	不明
190	「圓」	須恵器	杯	底 外	68	Bトレンチ西側
191	「□□」	須恵器	杯	底 外	83	H P92・93-2 層上部
192	「十」カ	須恵器	杯	底 外	85	S B907-9 C期掘形確認面
193	「□」	須恵器	杯	底 外	85	S B907-12C期掘形
194	「□」	須恵器	杯	底 外	85	南端斜面崩壊土上
195	「木」カ	須恵器	杯	底 外	85	Dトレンチ
196	「利乙」カ	須恵器	蓋	蓋外面	85	J P34-2 層
197	「□」	須恵器	杯	底 外	85	S B907-6掘形
198	「仲」	須恵器	蓋	蓋外面	60	S I 765
199	「集」	土師器	杯	体 外	60	S K748一括
200	「□」	須恵器	杯	底 外	60	KN08~10一括
201	「□」	須恵器	杯	底 外	90	S I 934
202	「□」	須恵器	杯	底 外	90	S K957
203	「□木圭」カ	角材刻書			88	S A933外欄東部
204	「□」	須恵器	杯	底 外	92	S L1035砂利層
205	「□」	須恵器	杯	底 外	92	S L1035砂利層
206	「日ヶ宮」	須恵器	杯	底 外	92	S L1035砂利層
207	「蟠」	須恵器	杯	体 外	92	S L1035砂利層
208	「□」	須恵器	杯	体 外	92	S L1035砂利層
209	「繼」	須恵器	杯	底 外	92	S K1029
210	「□」	須恵器	杯	体 外	92	S K1029
211	「□」	須恵器	杯	体 外	92	S K1029
212	「□」	土師器	杯	体 外	92	S K1029
213	「□主」	土師器	杯	底 外	92	S K1029
214	「木」	土師器	杯	体 外	92	S K1029
215	「□平」	須恵器	杯	底 外	92	E C11-1
216	「□」	須恵器	杯	底 外	92	E D00-2
217	「□」	須恵器	杯	底 外	92	E D00-2

番号	文字	器種	器形	部位	調査回数	出土地点
218	「□」	須恵器	杯	底外	92	ED00-2
219	「□」	須恵器	杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
220	「有」カ	須恵器	高台付杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
221	「中」	須恵器	杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
222	「□」「小勝」	須恵器	杯	底外・体外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
223	「□」	須恵器	杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
224	「□」	須恵器	杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
225	「□」	須恵器	杯	底外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
226	「□」	須恵器	杯	底内	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
227	「□□」	土師器	杯	体外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
228	「□」	土師器	杯	体外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
229	「厨」	土師器	杯	体外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
230	「中」カ	土師器	杯	体外	93	FNライントレンチ SL1035砂利層
231	「厨」「□」	須恵器	杯	体外・底外	93	S K1033・1034
232	「秋」	須恵器	長頸壺	底外	93	S K1033
233	「□」	土師器	杯	体外	93	S K1042
234	「矢」	須恵器	杯	底外	93	EH10-4
235	「官(臣)」カ	須恵器	杯	底外	93	EG09-4
236	「中中」	須恵器	杯	体外～底外	93	HB08-4 火山灰下
237	「□」「主」	須恵器	杯	体外～底外	93	HB08-4 火山灰下
238	「立」	須恵器	杯	底外	93	HB08-4 火山灰下
239	「□」	須恵器	杯	体外	93	HB08-4 火山灰下
240	「□」	土師器	杯	体外	93	HC07-4 火山灰下
241	「上」	土師器	杯	体外	93	HJ07-2
242	「就」	土師器	杯	体外	93	HK09-3
243	「□」	土師器	杯	底外	93	EH02-5
244	「□」	須恵器	杯	底外	93	EL08 7次調査埋土
245	「□」	土師器	杯	底外	KZ18	不明
246	「□」	土師器	杯	底外	KZ18	不明
247	「□」	土師器	杯	体外	KZ18	不明
248	「□」	須恵器	杯	体内・外	KZ18	不明
249	「□」	土師器	杯	体外	KZ18	不明
250	「□」	土師器	杯	体底	KZ18	不明
251	「□」	須恵器	杯	体外・底外	KZ18	不明
252	「□」	土師器	杯	体底	KZ18	不明
253	「□」	須恵器	壺	体内	94	SB1054南側東4掘形
254	「中」	須恵器	杯	底外	94	HR70-3
255	「厨」「□」	須恵器	杯	底外	94	HS77-下
256	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2

番号	文字	器種	器形	部位	調査回数	出土地点
257	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR76-2
258	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2
259	「厨」	須恵器	杯	底外	94	HR74-2、75-2下
260	「上」カ	須恵器	杯	底外	94	HR75-2下
261	「上」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2
262	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2
263	「厨」長「□」	須恵器	杯	体外・底外	94	HR73-2
264	「厨」カ	須恵器	杯	底外	94	HR75-2
265	「官」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2下
266	「官」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2下
267	「官」カ	須恵器	杯	底外	94	HR75-2下
268	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR78-2
269	「□」	須恵器	杯	底外	94	HR75-2下
270	「□」	須恵器	杯	体外	94	HR75-2下
271	「□」	須恵器	杯	体外	94	HR74-窪み
272	「□」	須恵器	高台付杯	底外	94	HR75-2下
273	「厨」	須恵器	高台付杯	底外	94	HR74-2下
274	「官」	土師器	杯	底外	94	HR74-2
275	「官」	土師器	杯	底外	94	HR75
276	「官」カ	土師器	杯	底外	94	HR75-2下
277	「□」	土師器	杯	底外	94	HR73
278	「厨」	土師器	杯	体外	94	IA75
279	「□」	土師器	杯	底外	94	HR74-2
280	「厨」	土師器	杯	底外	94	IA79-2
281	「缶」(正)カ	土師器	杯	底外	94	HR79-2
282	「□」	須恵器	杯	底外	94	SD1041
283	「□」	土師器	杯	体外	94	HC08
284	「□」	土師器	杯	体外	94	SL1035砂利層
285	「□」	土師器	杯	底外	94	SL1035砂利層
286	「□」	土師器	杯	体外	94	SL1035河川跡排土
287	「厨」	須恵器	杯	底外	95	SI1073
288	「□」	須恵器	杯	底外	95	SI1073
289	「厨」	須恵器	杯	体外	95	SI1073
290	「□」	須恵器	杯	体内	95	SI1074
291	「宮」カ「□」	須恵器	杯	体外～底外	95	SI1075北東隅ビット
292	「□」	須恵器	杯	底外	95	SI1075北東隅ビット
293	「□」	須恵器	杯	底外	95	SB1077南東隅掘形
294	「厨」	須恵器	杯	底外	95	KH53地山面
295	「千」	土師器	杯	体外	99	SK1095火山灰

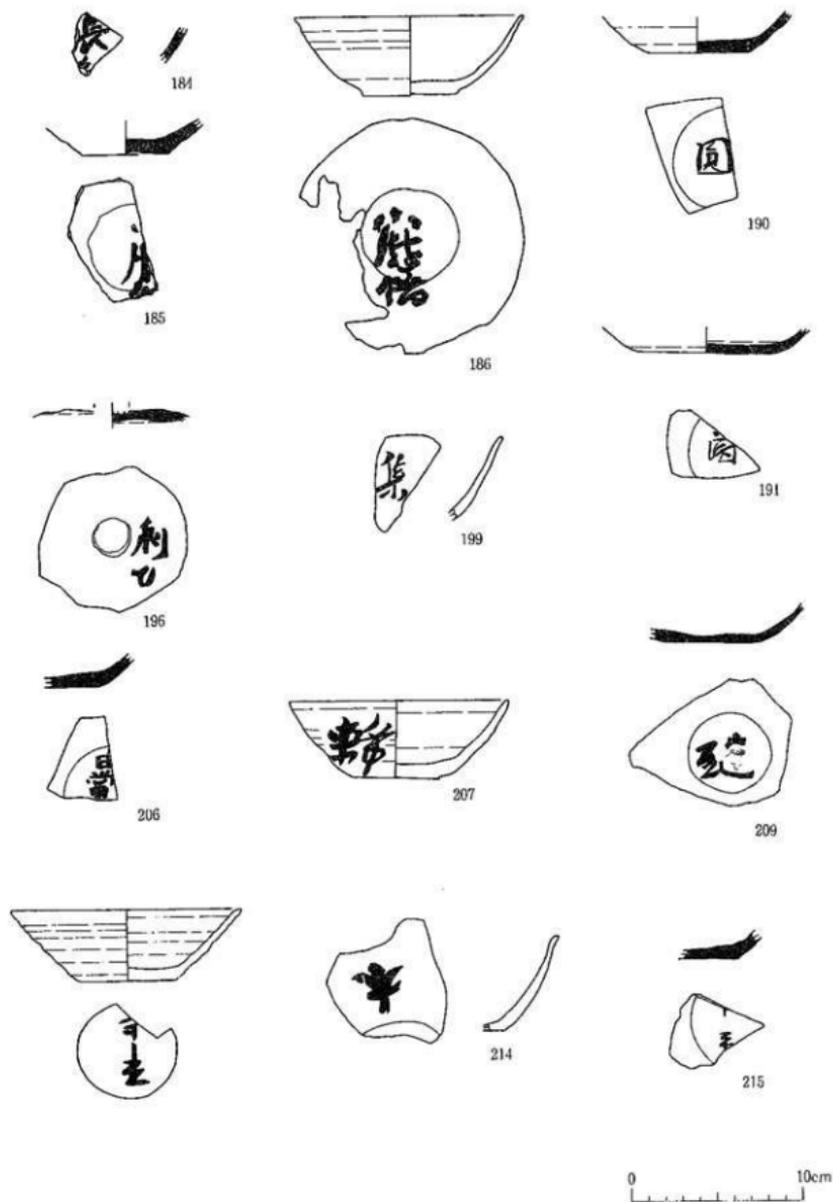
番号	文字	器種	器形	部位	調査回数	出土地点
296	「車」	土師器	杯	体外	99	S D1145火山灰直下
297	「口」	土師器	杯	底外	99	N F44-1
298	「口」	須恵器	杯	底外	100	S I 1106
299	「館」	須恵器	杯	底外	100	S I 1106
300	「口」	須恵器	杯	底外	100	S I 1114
301	「小勝」	須恵器	杯	底外	100	S I 1114
302	「口」	須恵器	杯	体外	100	S I 1114東壁側ビット
303	「口」	須恵器	杯	底外	100	S I 1125
304	「春」	須恵器	杯	底外	100	S I 1125
305	「口」	須恵器	杯	体外	100	S I 1125
306	空の蓋の 「口」上	土師器	杯	体外	100	S I 1125
307	「上口」	須恵器	杯	底外	100	S I 1126
308	「口」	須恵器	杯	底外	100	S I 1126カマド
309	「官」	須恵器	杯	底外	100	S B1082
310	「工」	須恵器	杯	底外	100	S B1127B期南側東3掘形
311	「口」	須恵器	杯	体外	100	S B1127南側東3柱抜穴
312	「口」	土師器	杯	体外・底外	100	S K1105
313	「山」	須恵器	蓋	蓋外面	100	S X970下
314	「口」	須恵器	杯	底外	100	S X1118
315	「㊦」	土師器	杯	体外	100	S X1122
316	「内」	土師器	杯	底外	100	S X1122
317	「口」	須恵器	杯	体外・底外	100	K G42-2
318	「口」	須恵器	杯	底外	100	K I 42-2
319	「口」	須恵器	杯	底外	100	K G42-2
320	「口」	須恵器	杯	底外	100	K F42-2
321	「口」	須恵器	杯	体外	100	K I 44-2
322	「口」	須恵器	杯	体外	100	K E44-2
323	「口」	須恵器	杯	底外	100	F J67-4
324	「弓」カ	須恵器	杯	底外	104	K G37-2
325	「口」	土師器	杯	体外	105	S I 967瓺土
326	「官」「小勝」	須恵器	杯	底外~体外	105	S I 1148
327	「官」「小勝」	須恵器	杯	底外~体外	105	S I 1148
328	「官」「小勝」	須恵器	杯	底外~体外	105	S I 1148
329	「厨」	須恵器	杯	底外	105	S I 1148
330	「口」	須恵器	杯	底外	105	S I 1148
331	「口」	須恵器	杯	底外	105	S I 1148
332	「口」	須恵器	杯	体外	105	S I 1148
333	「口」	須恵器	杯	体内・外	105	S I 1167
334	「口」	須恵器	杯	体外	105	S I 1167

番号	文字	器種	器形	部位	調査回数	出土地点
335	「□」	須恵器	杯	底外	105	S I 1167
336	「□」	土師器	杯	体外	105	S I 1167
337	「□」	須恵器	杯	底外	105	S X 1179
338	「□」	須恵器	高台付杯	底外	105	S X 1179
339	「益」「□」	須恵器	杯	底外	107	S A 1100 B 期布掘り中
340	「□」	土師器	杯	体外	107	S A 1100 布掘り中
341	「□」	須恵器	高台付杯	底外	107	S D 1145
342	「中万」	土師器	杯	底外	107	S X 1192
343	「中万」	土師器	杯	底外	107	S X 1192 底
344	「井口」	須恵器	杯	底外	107	M J 09 A 期材木堀西整地層
345	「少」カ	須恵器	杯	底外	107	M J 08 整地層
346	「□」	須恵器	杯	底外	107	MM98
347	「□」	須恵器	高台付杯	底外	107	M L 04 D 期整地層
348	「□」	須恵器	壺	体内	107	M L 04 火山灰下整地層
349	「□」	土師器	杯	体外	107	M N 05
350	「成」	土師器	杯	底外	107	M L 05 火山灰下整地層
351	「□」	土師器	不明	体外	107	M L 04 整地層下
352	「□」	土師器	不明	体外	107	M L 03 火山灰下整地層
353	「山本」	角材刻書			107	S X 1190
354	「一少塚御前下」	須恵器	杯	底外	111	M C 13 北門整地層
355	「延」	土師器	杯	底外	111	M F 14
356	「□」	須恵器	不明	体外	111	M C 14 火山灰下
357	「北預」	土師器	杯	体外	111	M G 12
358	「□」	土師器	杯	体外	111	S B 1200
359	「鷹」	須恵器	杯	底外	112	S D 1145
360	「厨」	土師器	杯	底外	112	S D 1145
361	「伴」	須恵器	杯	底外	112	S K 1212
362	「門」	須恵器	杯	体外	112	S X 1206
363	「官」	須恵器	杯	底外	112	S X 1206
364	「宅」	須恵器	杯	底外	112	S X 1206, MH15・16
365	「官」	土師器	杯	底外	112	S X 1206
366	「新」	土師器	杯	底外	112	MH20・M I 21
367	「□」	土師器	杯	体外	112	M I 17
368	「北門」	土師器	杯	体外	112	M I 10
369	「厨」	土師器	杯	体外	112	M I 18
370	「吉」	土師器	杯	底外	112	M F 17
371	「□」	土師器	杯	体外	112	M I 10
372	「□」	土師器	杯	体外	112	MH12
373	「東北方八」	角材墨書			111	S B 1200

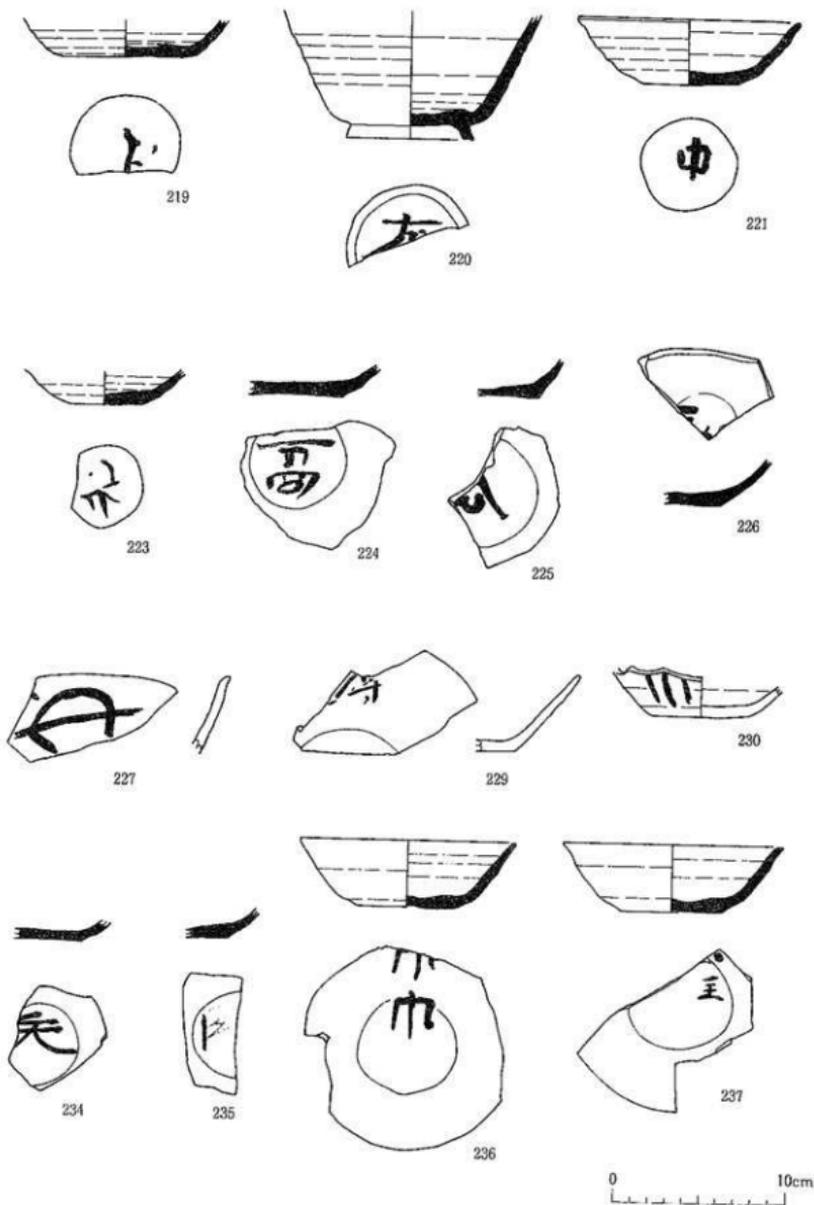
番号	文字	器種	器形	部位	調査回数	出土地点
374	「長」	須恵器	高台付杯	底外	113	SM1213
375	「口」	須恵器	杯	底外	113	L O11火山灰直下
376	「平」	須恵器	杯	底外	113	L F06客土上
377	「口」	土師器	杯	底外	113	L J05
378	「口」	土師器	杯	体内	113	L E07火山灰上
379	「最上」	角材刻書			仙北1997	外柵西部
380	「厨」	須恵器	杯	底外	2	S B01掘形
381	「舎」	土師器	杯	底外	K Z	不明
382	「少長」カ	土師器	杯	体外	千畑1993	外柵東部



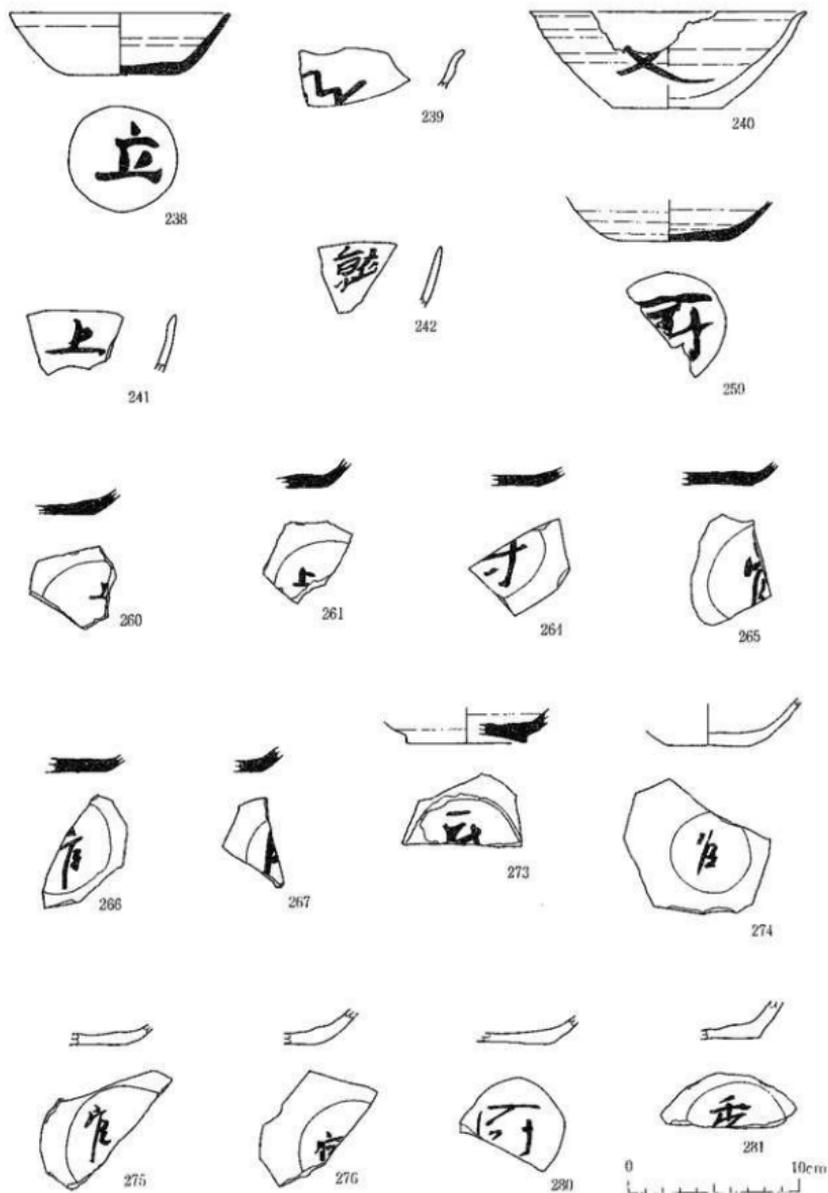
第1図 角材の刻書



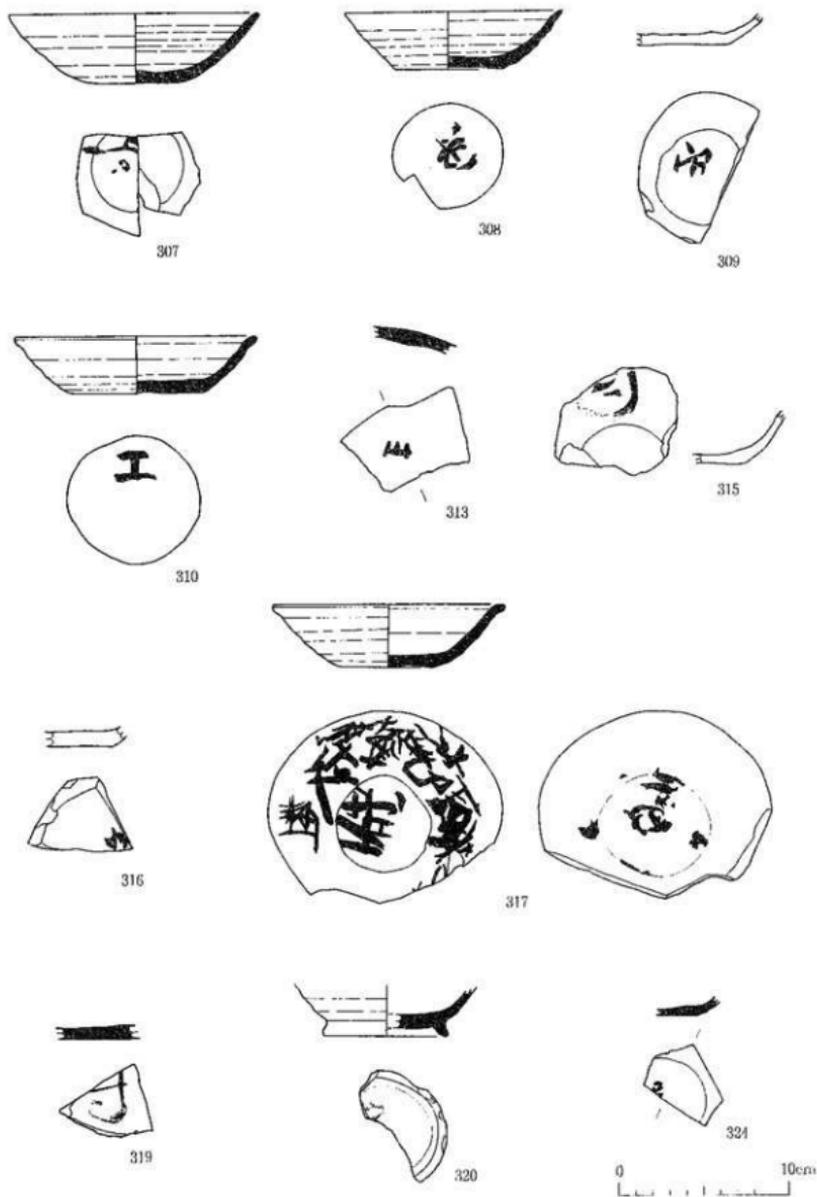
第2圖 墨書土器（1）



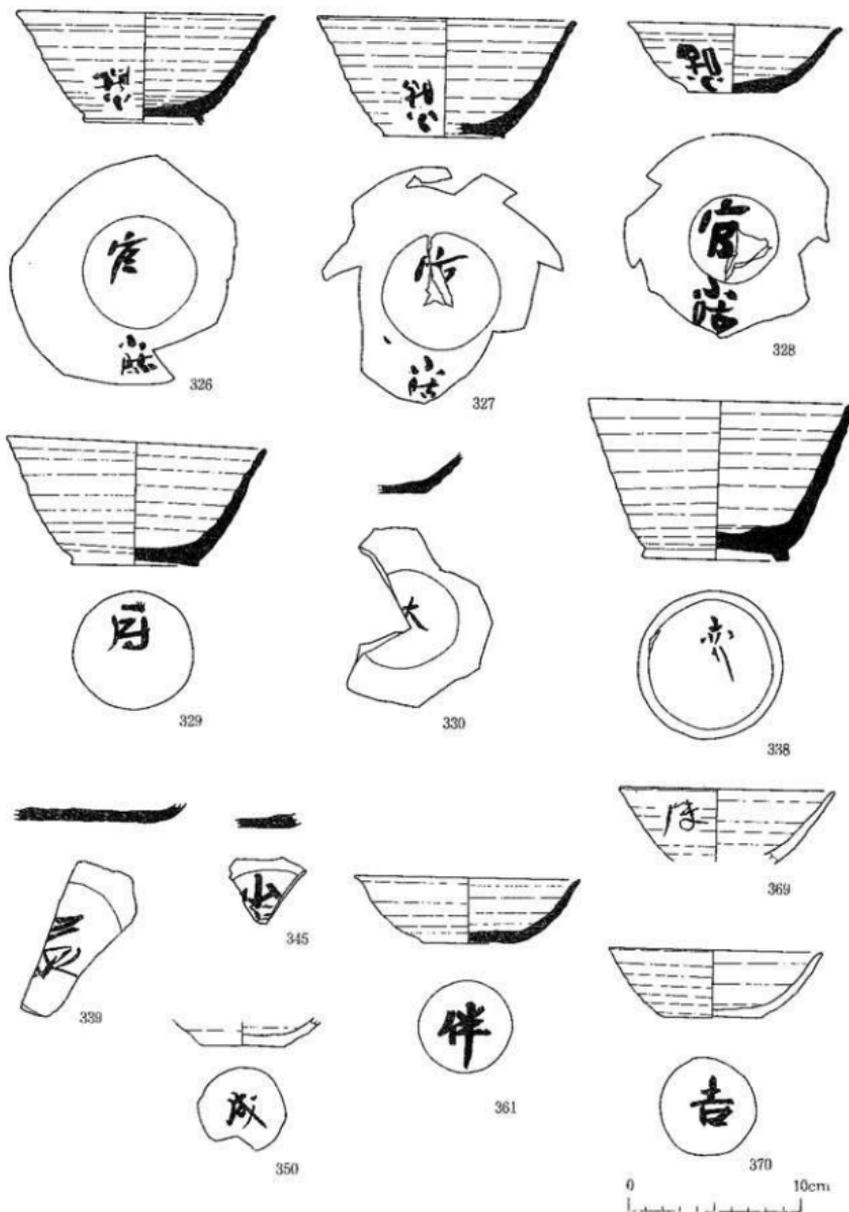
第3圖 墨書土器(2)



第4図 墨書土器(3)

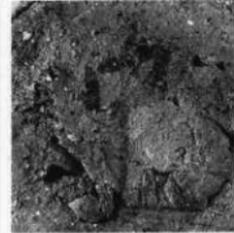
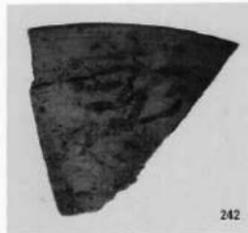
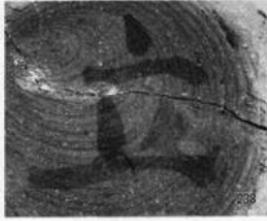
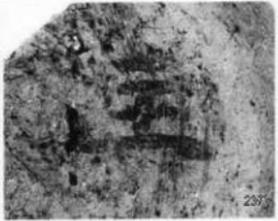
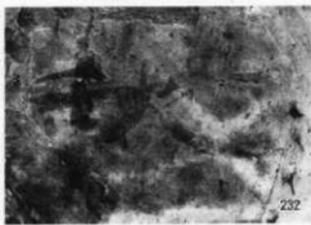
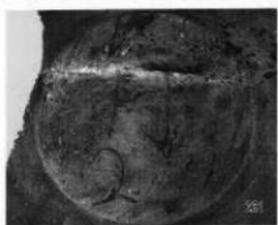
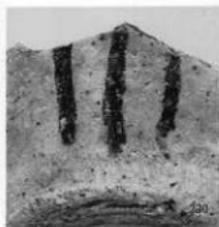


第6図 墨書土器(5)

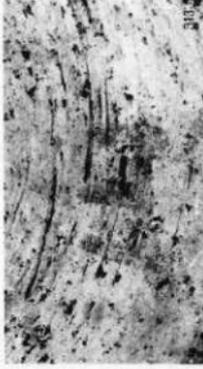
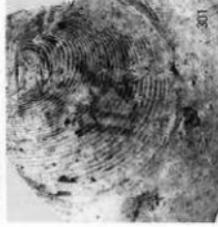
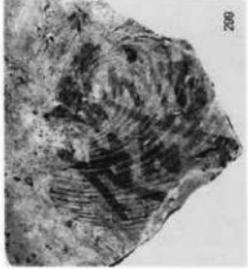
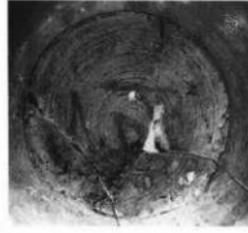
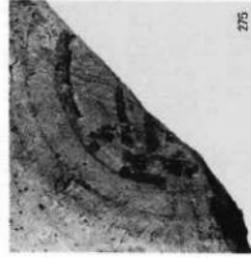


第7圖 墨書土器(6)



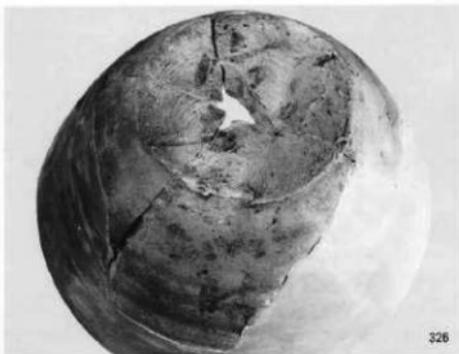


附录2 图版27





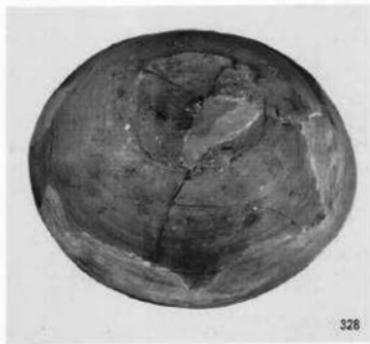
324



326



327



328



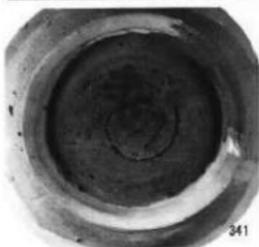
329



330



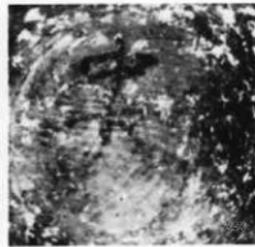
339



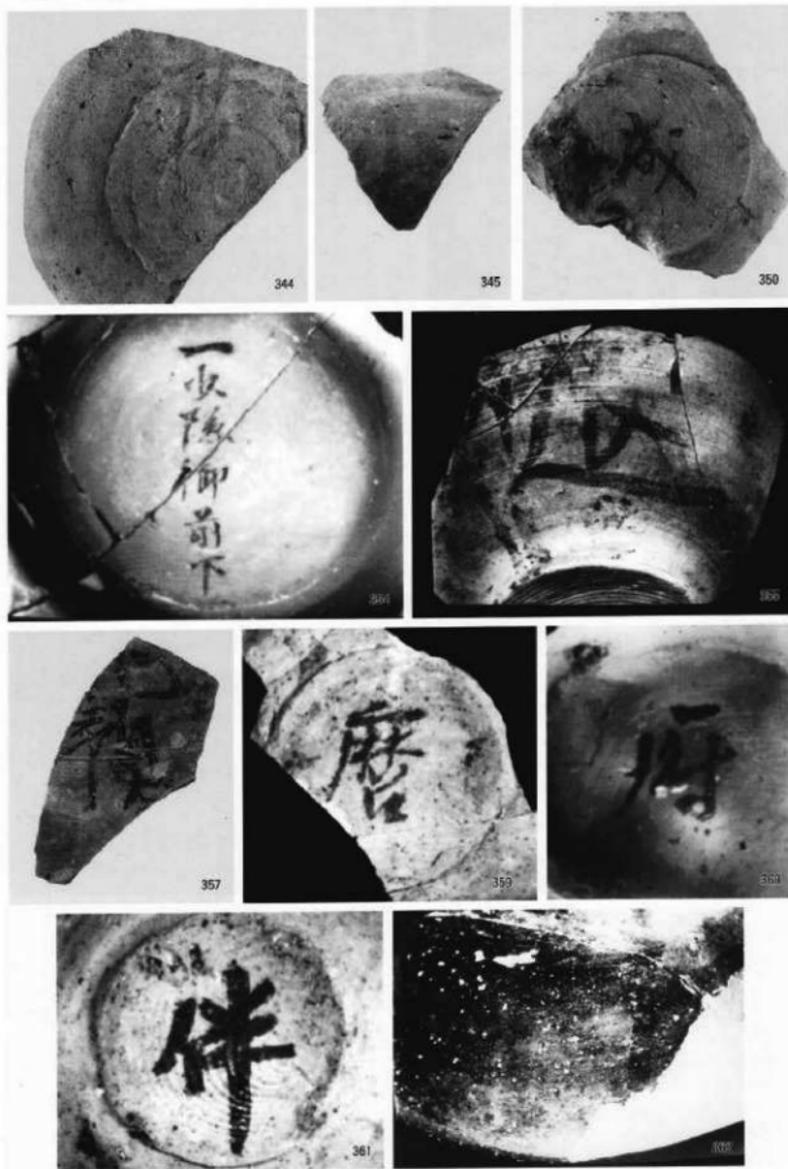
341

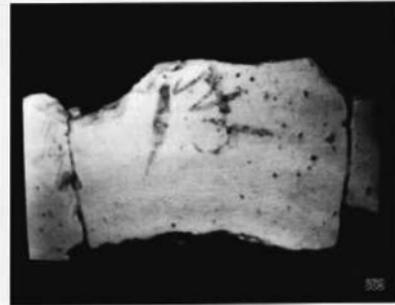
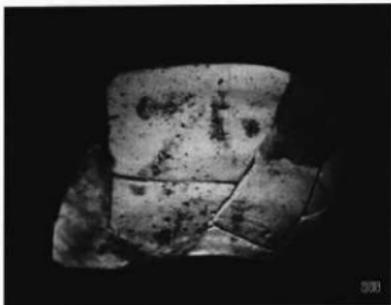
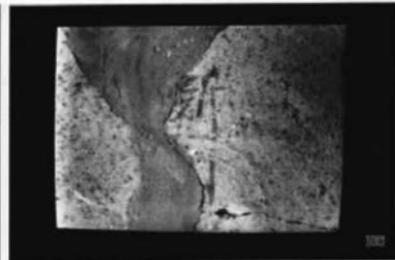
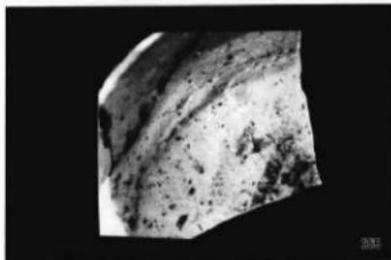
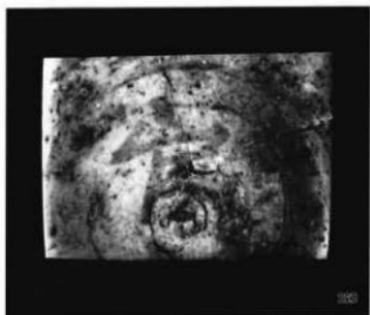


342



343





三 漆紙文書

第1号漆紙文書
第93次調査遺構外



解
 平
 小
 中
 三

轉 轉

第2号漆紙文書
第100次調査 S11125



原寸大

第8圖 第1・2号漆紙文書

払田柵跡第一〇〇次調査出土漆紙文書

国立歴史民俗博物館 平川 南

第2号漆紙文書

1) 釈文

〔紅〕
× □ 事力長 □

同 (妻力) (等)
□ × □ 子并家ホ多人

□ 之 × □ 所官物満 □
(欠力)

□ × □ 料 □
(守力)

2) 形状

断簡は直接には接続しないが、ほぼ一文字程度の間隔で連続するものと考えられる。推定径は約一・一cmと判断できる。

3) 内容

表は、墨界線のみが遺り、若干の墨痕が認められる程度であるが、界幅約二cmである点から判断すると経典などの典籍を想定できであろう。一方、裏面は墨痕を比較的良く遺している。しかし、径約一・一cmほどにわずかに四行のみの残存文書で、しかも各行すべて前後が欠損しているために全体の文意を読みとることはきわめて難しい。

「事力」「官物」などの字句と、行間約一・八cm、文字の大きさ約一・五

〜一・八cmほどという記載のしかた(図10 大膳職解参照)などを併せて判断するならば、公文書の一部とみなすことができよう。

事力は、令制下で国府官人に給わった従者で、職分田を耕し、雑役に駆使された。国司の場合、大國守に八人、上國の守と大國介に七人、史生に二人を給った。事力は上等戸の正丁から採用された。また天平宝字三年(七五九)鎮守府官人が事力を給されている。「事力長」はその事力の長の意か。

三行目の「欠所官物満進」は、「満進」を「填進」と同義と解すれば、官物の欠損を補填する意味に理解できるであろう。

第3号漆紙文書

1) 釈文

第 □ □ □

□ □ □ □ □ □ 其

□ □ □ □ □ □ 鮮

□ □ □ □ □ □ 館 □

昭
乞也 □ □ 之
□ □ □

2) 形状

円形の漆容器にふた紙を施した際に、現代の工房では竹の輪を用いてふた紙を押さえている。出土資料においても、ほぼ同様の形状を呈している。同じ方法でふた紙を用いたことは間違いない。円形の容器の周縁の立ち上がり部分が破片として数片残存する。したがって推定径は、それら周縁部分の破片を除いた円形部分で径約一・一cmとみなすこと

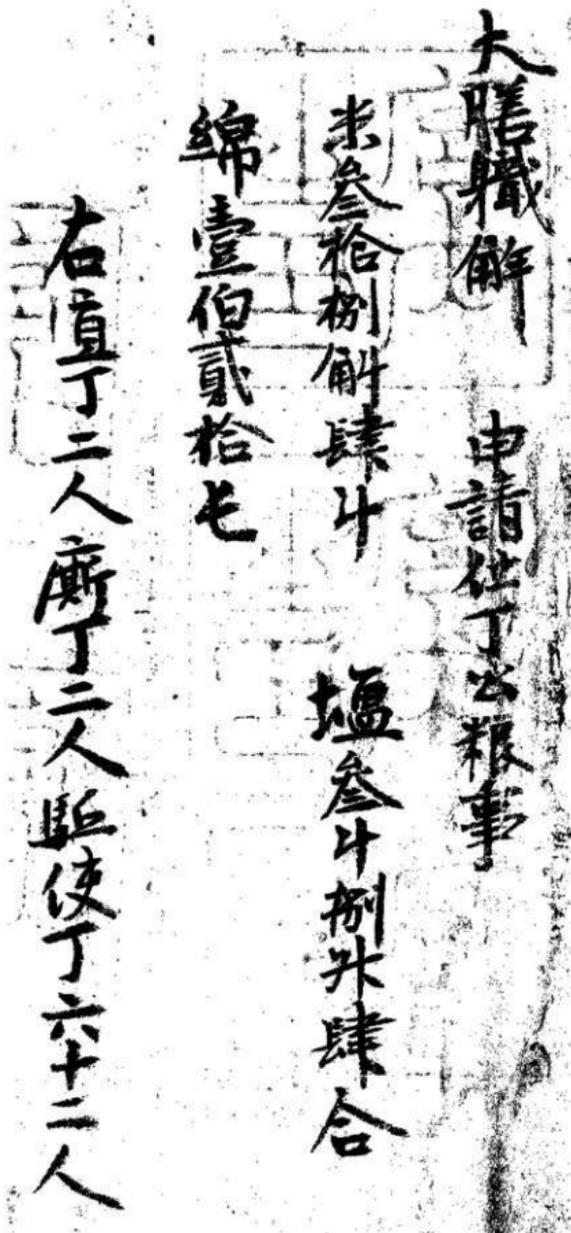


図10 「大膳職解」〈実大〉

〔国立歴史民俗博物館『正倉院文書拾遺』所収 1992年〕

ができる。この推定径は第2号文書とほぼ同じといえる。

3) 内容

全般に墨痕が薄く、部分的に字画が失われ破損部もあり、文意を明らかにすることは困難であるが、解説した字句によって判断するならば、文書や帳簿ではなく、漢籍のような典籍類を書写したものと考えられる。ただ現段階では本断簡がいかなる典籍を書写したものかは不明である。

第4号漆紙文書

1) 釈文

帳古

□ 納財吉

2) 形状

わずか二四方の小断片である。他に墨痕の付着する三つの小片が残

図11 第4号漆紙文書
解読想定図

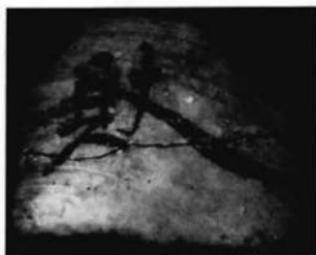


3) 内容
小断片ながら、遺された墨痕を手がかりに復原するならば、左図のようになろう。

存する。



参考1 第4号文書「帳」「納」「吉」の書体
①、②は伏見中叡福「書道大辞典」角川書店)
③は正倉院文書「天平勝宝八歳曆」

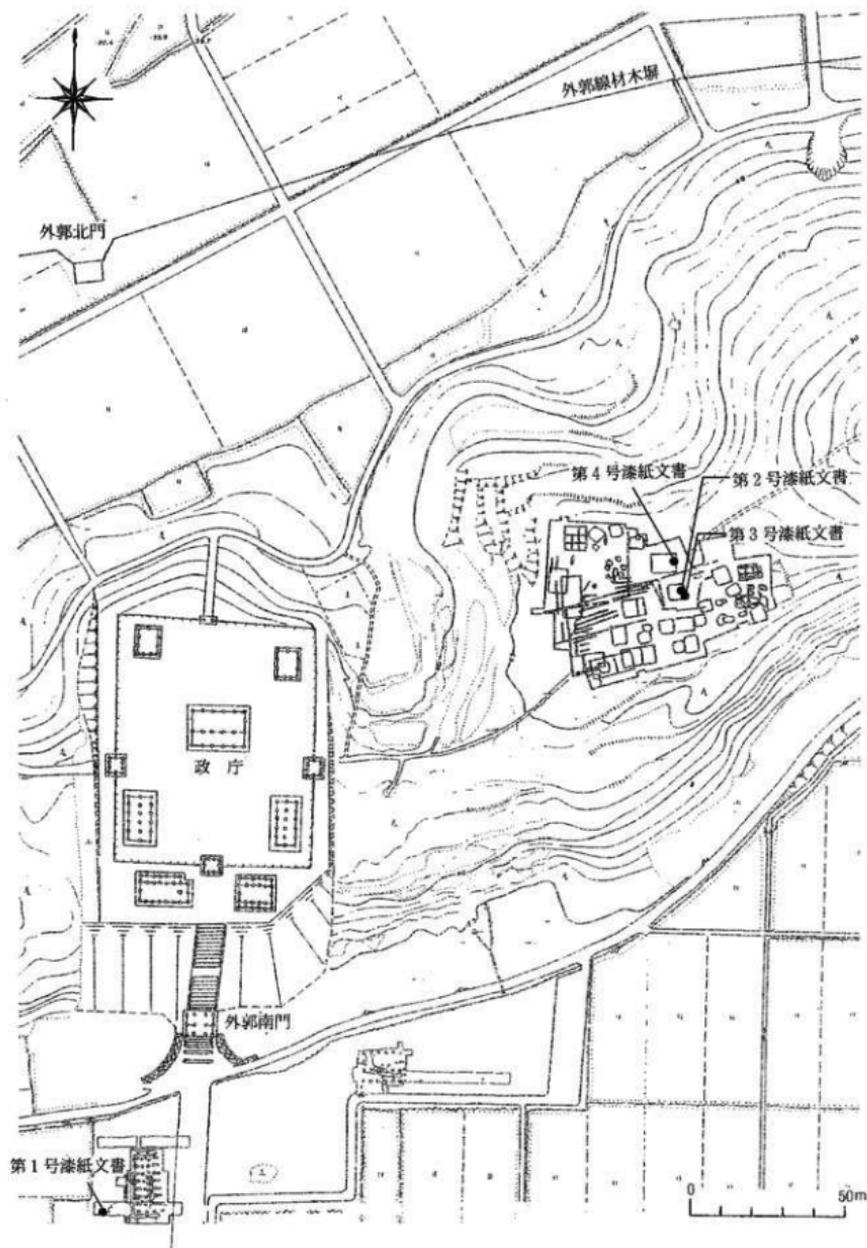


参考2 第4号文書「財」の書体
福島市南園訪原遺跡出土墨書土器
〔福島市振興公社文化財調査室
写真提供〕

これらの字句から推すれば、具注曆の断片と判断できる。例えば『統
群書類従』巻第九百十二に収める永久二年（一一一五年）曆（図12）に
は、「安床帳吉」「納財吉」がみえる。また漆紙文書の具注曆の例として
は、東京都府中市武蔵台遺跡出土の天平勝宝九歳（七五七年）曆にも
「安床帳吉」が記載されている（図13）。

具注曆とは、いうまでなく曆面を上・中・下の二段に分けて曆日の下に
日の吉凶・禍福などの懸注を具備した曆のことである。本断片は、この
具注曆の下段の日の吉凶・禍福部分にあたるのである。

結局のところ、小断片ゆえに年代を推定することはできないが、古代
の年代末詳曆として具注曆の一例に加えることができる。



第14図 漆紙文書出土地点

報告書抄録

ふりがな	ほったのさくあと						
書名	弘田柵跡Ⅱ						
副書名	-区画施設-						
巻次							
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書						
シリーズ番号	第289集						
編著者名	児玉 準						
編修機関	秋田県教育庁弘田柵跡調査事務所						
所在地	〒014-0802 秋田県仙北郡仙北町弘田字牛嶋20番地						
発行年月日	1999年3月						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村 遺跡番号	〇〇°	〇〇°		m ²	
弘田柵跡	秋田県仙北郡 仙北町弘田 千畑町本堂城回	05429 05432	39度 27分 57秒	140度 33分 11秒	第2次 19740723 ～ 第114次 19980728		主として 学術調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
弘田柵跡	城柵	平安時代	外郭東・西・南・北門 外郭線築地塀・材木塀 石塁、木道、櫓状建物 外柵南門、外柵材木塀 外柵南門付近掘立柱建 物、橋脚、河川跡 政庁北斜面竪穴住居	須臾器、上師器 木簡、漆紙文書 曲物、斎串、榎 瓦	弘田柵跡の区画施設 の正報告書。外郭線 ・外柵の実態と、そ の変遷、外柵南部低 地の官衙城・河川な どの様相、外柵北部 低地、政庁北側斜面 の遺構、それらに伴っ た遺物を記載。		